

令和6年度（2024年度）

シラバス

～各教科の授業内容と年間計画～



松阪市立飯南中学校

2024年度 飯南中学校 第1学年 【教科：国語】 シラバス

1. 教科の目標

- 色々な国語作品（小説・随筆・説明文・詩・短歌・俳句・古典）や漢字・文法の学習を通して、国語への関心を高め、自分の国語に対する感性を豊かにし、ものの見方・考え方を深め、国語の基礎学力を伸ばし育てよう。
- 色々な題材を通して、自分の考えをその時々に応じて、相手や仲間に伝えたり、相手や仲間から聴き取ったりする力を養おう。
- 色々な題材をもとに、目的に応じて筋道を立て、文章を書いたりまとめたりする力を養おう。
- 色々な題材を通しその作品の意図する内容を的確に読み取り、しっかり把握する力を養おう。
- 言葉や文法についての学習を通して、しっかりした知識を身につけよう。
- 漢字や言葉を、正確に読み書く力、また意味を理解し正しく用いる力を養おう。

2. 評価の観点と内容

①	国語的事象への知識・技能	・社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付け、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができる。
②	国語的な思考・判断・表現力	・考える力や感じたり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。
③	主体的に取り組む態度	・言葉がもつ価値に気付き、読書をすること、我が国の言語文化を大切にして思いや考えを伝え合おうとする。

3. 評価方法

- ・ノート（まとめ方。自分の考えや気付いたこと等が書かれているか。）
- ・ワーク（自主的に問題を解き、答え合わせや訂正ができているか。）
- ・定期テスト（観点別の内容に沿って、どこまで到達しているか。）
- ・授業中の態度（授業内容をしっかりと考えているか。粘り強く学ぼうとしているか。）
（目標を理解して、作品と向き合い、内容の理解を深めているか。）
（内容についての理解や、自分の思いや考えを、明確に伝えられているか。）

4. 学習の手引き

使用教材	教科書 国語 1 (光村図書) 副教材 スイッチ 1 (正進社) 学習漢字ノート 1 (浜島書店) すらすら基本文法 (浜島書店)	持ち物	(左記以外に) 授業用ノート ファイル
学習方法	<p>《学校》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○毎時間の授業において学習課題をしっかりと持ち、課題に対して自主的に取り組む。 ○何事もじっくり考え、発想が広げられるようにし、疑問点を解決する努力をする。 ○協同学習を通して、学習課題に対して多面的に観たり考えたりする力をつける。 ○書かれたものを読んだり、相手の意見を聞いたりする中で、相手の意図を読み取る力をつける。 ○書いたり、相手に話したりするなど積極的に自分の考えや意見を表現する力をつける。 ○学習活動をふりかえり、わかったこと・課題を解決できたことの定着を図る。 ○得た知識をもとに、自分で考え、判断し、表現する力をつける。 <hr/> <p>《家庭学習》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○漢字練習や教科書の通読、難語句の意味調べを中心に言語に関する予習・復習を行う。 ○副教材のワーク類や、授業で出された課題に取り組みながら、自主学習を充実させる。 		

5. 年間計画

単元名			内容			
学期	月	単元計画	試験	具体的な評価観点	具体的な評価方法	
前期	4	<ul style="list-style-type: none"> 〈授業の約束やマナー〉 〈オリエンテーション〉 ・言葉に出会うために ・野原はうたう ・あしたこそ ・おれはかまきり 	主体的な態度	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が持った課題に対してどのように準備し取り組もうとしているか。 ・国語に対する関心・意欲を持って授業に取り組もうとしているか。 ・学習した内容をしっかり振り返ろうとしているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題ノートへまとめ方 ・授業に取り組む姿勢 ・授業中の発言・発表の様子 ・準備物や宿題の状況 ・ワークやノート等の提出 ・振り返りシート 	
	5	<ul style="list-style-type: none"> ・シンシユン ・文章の書き方 (感想文・課題作文) 		主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・広い範囲から話題を求め話したり聞いたりして、自分の見方や考え方を深められたか。 ・相手の立場や考えを尊重し、話したり聞いたりできるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音読 ・発表の内容・様子 ・説明・話す様子 ・討論の内容・様子 ・発表する態度 ・聞く態度 ・聞き取りの正確さ ・発問を正確に捉える力 ・発問に対する的確に答える力
	6	<ul style="list-style-type: none"> ・ちょっと立ち止まって ・俳句と松尾芭蕉 				
	7	<ul style="list-style-type: none"> ・詩の世界 ・一枚の絵 ・朝 ・未確認飛行物体 				
	9	<ul style="list-style-type: none"> ・比喻で広がる言葉の世界 				
	10	<ul style="list-style-type: none"> ・大人になれなかった弟たちに・・・ ・いろは歌 				
	11	<ul style="list-style-type: none"> ・古典の世界 ・蓬萊の玉の枝 (「竹取物語」) ・今に生きる言葉 (「矛盾」) ・百人一首 				
	12	<ul style="list-style-type: none"> ・故事成語(名句名言) ・「私の座右の銘」 				
	後期	1	<ul style="list-style-type: none"> ・近代現代文学について 	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・正しく漢字が書けるか。 ・知識・理解を問う問題を解けるか。 ・文法について正しい理解ができるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発表の内容 ・テスト
2		<ul style="list-style-type: none"> ・外国の文学 				
3		<ul style="list-style-type: none"> ・少年の日の思い出 				
※漢字・語句・文法等は随時						

2024年度 飯南中学校 第2学年 【教科：国語】 シラバス

1. 教科の目標

- 色々な国語作品（小説・随筆・説明文・詩・短歌・俳句・古典）や漢字・文法の学習を通して、国語への関心を高め、自分の国語に対する感性を豊かにし、ものの見方・考え方を深め、国語の基礎学力を伸ばし育てよう。
- 色々な題材を通して、自分の考えをその時々に応じて、相手や仲間に伝えたり、相手や仲間から聴き取ったりする力を養おう。
- 色々な題材をもとに、目的に応じて筋道を立て、文章を書いたりまとめたりする力を養おう。
- 色々な題材を通しその作品の意図する内容を的確に読み取り、しっかり把握する力を養おう。
- 言葉や文法についての学習を通して、しっかりした知識を身につけよう。
- 漢字や言葉を、正確に読み書く力、また意味を理解し正しく用いる力を養おう。

2. 評価の観点と内容

①	国語的事象への知識・技能	・社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付け、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができる。
②	国語的な思考・判断・表現力	・考える力や感じたり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。
③	主体的に取り組む態度	・言葉がもつ価値に気付き、読書をすること、我が国の言語文化を大切にして思いや考えを伝え合おうとする。

3. 評価方法

- ・ノート（自分の考えや気付いたこと等が書かれているか。）
- ・ワーク（自主的に問題を解き、答え合わせや訂正ができているか。）
- ・定期テスト（観点別の内容に沿って、どこまで到達しているか。）
- ・授業中の態度（授業内容をしっかりと考えているか。粘り強く学ぼうとしているか。）
（目標を理解して、作品と向き合い、内容の理解を深めているか。）
（内容についての理解や、自分の思いや考えを、明確に伝えられているか。）

4. 学習の手引き

使用教材	教科書 国語2 (光村図書) 副教材 スイッチ2 (正進社) 学習漢字ノート2 (浜島書店) すらすら基本文法 (浜島書店)	持ち物	(左記以外に) 授業用ノート ファイル
学習方法	<p>《学校》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○毎時間の授業において学習課題をしっかりと持ち、課題に対して自主的に取り組む。 ○何事もじっくり考え、発想が広げられるようにし、疑問点を解決する努力をする。 ○協同学習を通して、学習課題に対して多面的に観たり考えたりする力をつける。 ○書かれたものを読んだり、相手の意見を聞いたりする中で、相手の意図を読み取る力をつける。 ○書いたり、相手に話したりするなど積極的に自分の考えや意見を表現する力をつける。 ○学習活動をふりかえり、わかったこと・課題を解決できたことの定着を図る。 <hr/> <p>《家庭》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○漢字練習や教科書の通読、難語句の意味調べを中心に言語に関する予習・復習を行う。 ○授業内容をふりかえり、副教材を利用しながら学力のより確かな定着を図る。 		

5年間計画

学 習 計 画			評価にあたって			
学期	月	単 元 計 画	試 験	評 価 観 点	評 価 の 場 面 ・ 方 法	
前 期	4	〈授業の約束やマナー〉 〈オリエンテーション〉 《自学年での学習を知り、自らの観点別課題を確認する》	中間	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が持った課題に対してどのように準備し取り組もうとしているか。 ・国語に対する関心・意欲を持って授業に取り組もうとしているか。 ・学習した内容をしっかり振り返ろうとしているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題ノートへまとめ方 ・授業に取り組む姿勢 ・授業中の発言・発表の様子 ・準備物や宿題の状況 ・ワークやノート等の提出 ・振り返りシート 	
	5	・見えないだけ				
	6	・アイスプラネット ・枕草子				
	7	・メディアを比べよう ・「自分で考える」時間をもとう ・文章の書き方 (感想文・課題作文)・	期末	<ul style="list-style-type: none"> ・広い範囲から話題を求め話したり聞いたりして、自分の見方や考え方を深められたか。 ・相手の立場や考えを尊重し、話したり聞いたりできるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音読 ・発表の内容・様子 ・説明・話す様子 ・討論の内容・様子 ・発表する態度 ・聞く態度 ・聞き取りの正確さ ・発問を正確に捉える力 ・発問に対する的確に答える力 	
	9	・短歌に親しむ ・短歌の知識 ・俳句について ・短歌を味わう				
	10	・字のない葉書 ・古典の知識				
	後 期	11	・扇的的(「平家物語」)	中間	<ul style="list-style-type: none"> ・広い範囲から話題を求め話したり聞いたりして、自分の見方や考え方を深められているか。 ・自分の立場及び伝えたい事実事柄を明確に示せるか。 ・文章の形態に応じ適切な構成を工夫し、相手に伝わるように筋道立てて書けているか。 ・文章を正しく読めるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・小テスト ・話し合いの内容・様子 ・説明や発表の様子 ・課題レポート・作文 ・要旨や感想や意見等をまとめる問題 ・授業中の課題
		12	・仁和寺にある法師 (「徒然草」)			
		1	・百人一首 ・漢詩の風景 ・春暁・絶句・春望 ・黄鶴楼にて孟浩然の広陵に之くを送る			
2		・漢詩の知識 ・言葉の力 ・漢字の練習 ・読書教材	期末	<ul style="list-style-type: none"> ・正しく漢字が書けるか。 ・知識・理解を問う問題を解けるか。 ・文法について正しい理解ができるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発表の内容 ・テスト 	
3		・走れメロス ・近代文学及び現代文学について				
※漢字・語句・文法等は随時						

2024年度 飯南中学校 第3学年 【教科：国語】 シラバス

1. 教科の目標

- 色々な国語作品（小説・随筆・説明文・詩・短歌・俳句・古典）や漢字・文法の学習を通して、国語への関心を高め、自分の国語に対する感性を豊かにし、ものの見方・考え方を深め、国語の基礎学力を伸ばし育てよう。
- 色々な題材を通して、自分の考えをその時々に応じて、相手や仲間に伝えたり、相手や仲間から聴き取ったりする力を養おう。
- 色々な題材をもとに、目的に応じて筋道を立て、文章を書いたりまとめたりする力を養おう。
- 色々な題材を通しその作品の意図する内容を的確に読み取り、しっかり把握する力を養おう。
- 言葉や文法についての学習を通して、しっかりした知識を身につけよう。
- 漢字や言葉を、正確に読み書く力、また意味を理解し正しく用いる力を養おう。

2. 評価の観点と内容

①	国語的事象への知識・技能	・社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付け、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができる。
②	国語的な思考・判断・表現力	・考える力や感じたり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。
③	主体的に取り組む態度	・言葉がもつ価値に気付き、読書をすること、我が国の言語文化を大切にして思いや考えを伝え合おうとする。

3. 評価方法

- ・ノート（自分の考えや気付いたこと等が書かれているか。）
- ・ワーク（自主的に問題を解き、答え合わせや訂正ができているか。）
- ・定期テスト（観点別の内容に沿って、どこまで到達しているか。）
- ・授業中の態度（授業内容をしっかりと考えているか。粘り強く学ぼうとしているか。）
（目標を理解して、作品と向き合い、内容の理解を深めているか。）
（内容についての理解や、自分の思いや考えを、明確に伝えられているか。）

4. 学習の手引き

使用教材	教科書 国語3 (光村図書) 副教材 スイッチ2 (正進社) 学習漢字ノート2 (浜島書店) すらすら基本文法 (浜島書店)	持ち物	(左記以外に) 授業用ノート ファイル
学習方法	<p>《学校》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○毎時間の授業において「めあて」をしっかりと認知し、課題に対して主体的に取り組む。 ○何事もじっくり考え、ものの見方を広げ、疑問点を進んで解決できるよう努力をする。 ○協同学習を通して互いに学びあい、学習課題に対して多面的に捉え考える力をつける。 ○根拠を明確にし、積極的に自分の考えや意見を表現し、相手に伝える力をつける。 ○学習活動をふりかえり、次の授業や家庭学習での予習復習につなげ学習の定着を図る。 ○学習した事柄から疑問や課題を見つけ、その疑問の解決や課題解決に主体的に取り組む。 <hr/> <p>《家庭》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○漢字練習や教科書の通読、難語句の意味調べを中心に言語に関する予習・復習を行う。 ○授業内容をふりかえり、副教材を利用しながら学力のより確かな定着を図る。 ○単元での学習をふりかえり、学習事項の整理・定着、主体的に学習に取り組む態度の育成を図る。 		

5年間計画

学 習 計 画			評価にあたって					
学期	月	単 元 計 画	試 験	評 価 観 点	評 価 の 場 面 ・ 方 法			
前 期	4	〈授業の約束やマナー〉 〈オリエンテーション〉 《自学年での学習の見通しを知り、自らの観点別課題を確認する》 ・世界はうつくしいと握手 ・漢文と孔子について ・学びて時にこれを習ふ（「論語」） ・文章の書き方（感想文・課題作文）	主体的な態度	・自分が持った課題に対してどのように準備し取り組もうとしているか。 ・国語に対する関心・意欲を持って授業に取り組もうとしているか。 ・学習した内容をしっかり振り返り、学習したことをまとめ疑問に感じて調べたことを自分の言葉でまとめているか。	・課題ノートへまとめ方 ・授業に取り組む姿勢 ・授業中の発言・発表の様子 ・準備物や宿題の状況 ・ワークやノート等の提出 ・振り返りシート			
	5					中間	・広い範囲から話題を求め話したり聞いたりして、自分の見方や考え方を深められたか。 ・相手の立場や考えを尊重し、話したり聞いたりできるか。	・音読 ・発表の内容・様子 ・説明・話す様子 ・討論の内容・様子 ・発表する態度 ・聞く態度
	6							
7	・読書生活をデザインしよう ・俳句の可能性 ・俳句の知識 ・挨拶一原爆の写真によせて	主体的に学習に取り組む態度	・定期テスト ・小テスト ・話し合いの内容・様子 ・説明や発表の様子 ・課題レポート・作文 ・要旨や感想や意見等をまとめる問題 ・授業中の課題					
9				・俳句を味わう ・和歌の世界 ・君待つと（「万葉・古今・新古今」） ・和歌の知識 ・夏草「おくのほそ道」 ・百人一首 ・松尾芭蕉について ・古典文学について ・外国文学について ・故郷 ・誰かの代わりに ・初恋 ・温かいスープ ・私を束ねないで	思考・判断・表現	・広い範囲から話題を求め話したり聞いたりして、自分の見方や考え方を深められているか。 ・自分の立場及び伝えたい事実事柄を明確に示せるか。 ・文章の形態に応じ適切な構成を工夫し、相手に伝わるように筋道立てて書けているか。 ・文章を正しく読めるか。	・正しく漢字が書けるか。 ・知識・理解を問う問題を解けるか。 ・文法について正しい理解が	
10	・俳句の可能性 ・俳句の知識 ・挨拶一原爆の写真によせて	知識	・発表の内容 ・テスト					
11				・俳句の可能性 ・俳句の知識 ・挨拶一原爆の写真によせて	・聞き取りの正確さ ・発問を正確に捉える力 ・発問に対する的確に答える力			
12	・俳句の可能性 ・俳句の知識 ・挨拶一原爆の写真によせて	・聞き取りの正確さ ・発問を正確に捉える力 ・発問に対する的確に答える力						
1			・俳句の可能性 ・俳句の知識 ・挨拶一原爆の写真によせて	・聞き取りの正確さ ・発問を正確に捉える力 ・発問に対する的確に答える力				
2	・聞き取りの正確さ ・発問を正確に捉える力 ・発問に対する的確に答える力							
3		・聞き取りの正確さ ・発問を正確に捉える力 ・発問に対する的確に答える力						

※漢字・語句・文法等は随時

技
能

できるか。

2024年度 飯南中学校 第1学年 社会(地理・歴史)のてびき

1 教科の目標

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる 平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の 基礎を次のとおり育成することを目指す。

2 評価の観点と内容 3 評価方法

	観点	内容	評価の対象となるもの
①	知識・技能	我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解しているとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめている。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・授業における活動（調べる） ・单元ごとの課題設定・振り返り ・レポート ・小テスト
②	思考・判断・表現	社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を、多面的・多角的に考察したり、社会にみられる課題の解決に向けて選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・授業における活動（書く、議論） ・单元ごとの課題設定・振り返り ・レポート ・小テスト
③	主体的に学習に取り組む態度	社会的事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業におけるとりくみ姿勢 ・課題に対するとりくみ姿勢 ・单元ごとの課題設定・振り返り ・毎時の振り返り

4 学習の手引き

使用教材	教科書 中学生の地理（帝国書院） 新しい社会・歴史（東京書籍） 中学校社会科地図（帝国書院） 副教材 地理の学習①・歴史の学習①（浜島書店）	持ちもの	教科書・ノート・ワーク、iPad、のり赤ペン、青ペン、その他指示のあったもの。
学習方法	<ul style="list-style-type: none"> ・チャイムが鳴るまでに授業の準備をして、着席しておこう。【態度】 ・授業ごとの課題をきちんと理解し、課題を解決することを心がけよう。【態度】 ・授業の内容をしっかりと聴き、ノートにメモしていこう。【知・技、態度】 ・授業ごとに課題に対する自分の考え、振り返りを必ず書こう。【思・判・表、態度】 ・地図やグラフなど資料を読み取る技術を身につけよう。【思・判・表】 ・「いいトーク」、議論など授業での活動には意欲的に参加しよう。【思・判・表、態度】 ・单元ごとの課題は期限までに提出できるように計画的に取り組もう。【思・判・表、態度】 ・中間、期末テストで結果を出そう。【知・技、思・判・表、態度】 		
家庭	※自分で「読む力」「解く力」「書き表す力」を磨きましょう。 <ul style="list-style-type: none"> ・メディアや本などで社会的事象に興味・関心を持とう。 ・まず教科書を読んで、自分なりに理解してみてください。 ・プリントなどの問題をやる場合は、まず問題を読み、理解した上で解いていこう。 ・テストは日々の積み重ねが結果にあらわれます。 ・配られた問題プリント、テストは高校受験のときのために必ず保管しておこう。 ・時間は限られています。大切に使いましょう 		

【社会科】年間指導計画 第1学年

月	時	第1学年（105時間）地 理・歴 史		
4月	6	1部 世界と日本の地域構成 ①世界の姿	5	
5月	12	②日本の姿 2部 世界のさまざまな地域 ①人々の生活と環境 ②世界の諸地域	5 9	
6月	12	・アジア州 ・ヨーロッパ	8 7	
7月	6	・アフリカ	5	
9月	12	・北アメリカ	6	
評価などの予備時間		2		
10月	12	・南アメリカ ・オセアニア 持続可能な社会の実現に向けて（歴史） 1章 歴史へのとびら	5 4 1	
11月	12	①歴史をとらえる見方・考え方 ②身近な地域の歴史 2章 古代までの日本 導入	4 2 1	
12月	9	①世界の古代文明と宗教の歴史 ②日本列島の誕生と大陸と交流 ③古代国家の歩みと東アジア世界（前半） ③（後半） まとめ	5 3 5 3 2	
1月	9	地域の歴史を調べよう	6	
2月	12	3章 中世の日本 導入 ①武士の政権の成立 ②ユーラシアの動きと武士の政治の展開 まとめ	1 5 7 2	
3月	3			
評価などの予備時間		2		
合計	地理	(54)	歴史	(47)
	評価などの予備時間	4		

2024年度 飯南中学校 第2学年 社会(地理・歴史)のてびき

1 教科の目標

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる 平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の 基礎を次のとおり育成することを目指す。

2 評価の観点と内容 3 評価方法

	観点	内容	評価の対象となるもの
①	知識・技能	我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解しているとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめている。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・授業における活動（調べる） ・单元ごとの課題設定・振り返り ・レポート ・小テスト
②	思考・判断・表現	社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を、多面的・多角的に考察したり、社会にみられる課題の解決に向けて選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・授業における活動（書く、議論） ・单元ごとの課題設定・振り返り ・レポート ・小テスト
③	主体的に学習に取り組む態度	社会的事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業におけるとりくみ姿勢 ・課題に対するとりくみ姿勢 ・单元ごとの課題設定・振り返り ・毎時の振り返り

4 学習の手引き

使用教材	教科書 中学生の地理（帝国書院） 新しい社会・歴史（東京書籍） 中学校社会科地図（帝国書院） 副教材 地理の学習②、歴史の学習②③（浜島書店）	もちもの	教科書・ノート・ワーク、iPad、のり 赤ペン、青ペン、その他指示のあったもの。
学習方法	<ul style="list-style-type: none"> ・チャイムが鳴るまでに授業の準備をして、着席しておこう。【態度】 ・授業ごとの課題をきちんと理解し、課題を解決することを心がけよう。【態度】 ・授業の内容をしっかりと聴き、ノートにメモしていこう。【知・技、態度】 ・授業ごとに課題に対する自分の考え、振り返りを必ず書こう。【思・判・表、態度】 ・地図やグラフなど資料を読み取る技術を身につけよう。【思・判・表】 ・「いいトーク」、議論など授業での活動には意欲的に参加しよう。【思・判・表、態度】 ・单元ごとの課題は期限までに提出できるように計画的に取り組もう。【思・判・表、態度】 ・中間、期末テストで結果を出そう。【知・技、思・判・表、態度】 		
家庭	※自分で「読む力」「解く力」「書き表す力」を磨きましょう。 ・メディアや本などで社会的事象に興味・関心を持とう。 ・まず教科書を読んで、自分なりに理解してみてください。 ・プリントなどの問題をやる場合は、まず問題を読み、理解した上で解いていこう。 ・テストは日々の積み重ねが結果にあらわれます。 ・配られた問題プリント、テストは高校受験のときのために必ず保管しておこう。 ・時間は限られています。大切に使いましょう		

【社会科】年間指導計画 第2学年

月	時	第2学年（105時間）地 理・歴 史		
4月	6	(地理) 第3部 日本のさまざまな地域 第1章 身近な地域の調査	4	・①自然環境, ②人口, ③資源・エネルギーと産業, ④交通・通信に基づく地域区分を踏まえ, 日本の国土の特色を大観させ, 理解させる。
5月	12	第2章 日本の地域的特色 第3章 日本の諸地域 ①九州地方	13 1 5	・日本の地域的特色を, ①自然環境, ②人口, ③資源・エネルギーと産業, ④交通・通信に基づく地域区分などに着目させ, それらを関連付けて多面的・多角的に考察, 表現させる。
6月	12	②中国・四国地方 ③近畿地方	5 5	・幾つかに区分した日本のそれぞれの地域について, その地域的特色や地域の課題を理解させる。
7月	6	④中部地方	5	・日本の諸地域において, それぞれ①自然環境, ②人口や都市・村落, ③産業, ④交通や通信, ⑤その他の事象までで扱う中核となる事象の成立条件を, 地域の広がりや地域内の結び付き, 人々の対応などに着目させ, 他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察, 表現させる。
9月	12	⑤関東地方 ⑥東北地方	6 5	
評価などの予備時間			5	
10月	12	⑦北海道地方 (歴史) 第4章 近世の日本 ①ヨーロッパ人との出会いと全国統一	5 5	・江戸幕府の政治の特色を考えさせ, その支配のもとに生まれた社会が, その後長く続いたことを理解することができる。
11月	12	②江戸幕府の成立と対外政策 ③産業の発展と幕府政治の動き まとめ	5 7 1	・身近な事例を取り上げてその特色を考えることを通して, 産業や交通が著しく発達し, 町人文化や各地方の生活文化が形成されたことに気づくことができる。
12月	9	第5章 日本の近代化 導入	1	・幕府の政治改革と政治のゆきづまりの原因について考えることができる。
1月	9	① 欧米における近代化の進展 ② 欧米の進出と日本の開国	5 4	・欧米諸国が市民革命や産業革命によって近代社会を成立させて, アジアへ進出したことを理解することができる。
2月	12	① 明治維新 ② 日清・日露戦争と近代産業 まとめ	8 6 1	・新政府の改革の特色を考え, 明治維新によって近代国家の基礎が整えられたことや, 人々の生活が大きく変化したことを理解することができる。
3月	3			・立憲制の国家が成立して議会政治が始まるとともに, 日清・日露戦争, 条約改正などによって日本の国際的地位が向上したことを理解することができる。
評価などの予備時間			6	・日本で近代産業が発展し, 近代文化が形成された原因や, それによって都市や農村の生活にどのような変化が生じたのかを理解することができる。
合計	地理 (51)		歴史 (43)	
	評価などの予備時間			11

2024年度 飯南中学校 第3学年 社会(歴史・公民)のてびき

1 教科の目標

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる 平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の 基礎を次のとおり育成することを目指す。

2 評価の観点と内容 3 評価方法

	観点	内容	評価の対象となるもの
①	知識・技能	我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解しているとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめている。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・授業における活動（調べる） ・単元ごとの課題設定・振り返り ・レポート ・小テスト
②	思考・判断・表現	社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を、多面的・多角的に考察したり、社会にみられる課題の解決に向けて選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・授業における活動（書く、議論） ・単元ごとの課題設定・振り返り ・レポート ・小テスト
③	主体的に学習に取り組む態度	社会的事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業におけるとりくみ姿勢 ・課題に対するとりくみ姿勢 ・単元ごとの課題設定・振り返り ・毎時の振り返り

4 学習の手引き

使用教材	教科書 新しい社会・歴史（東京書籍） 新しい社会・公民（東京書籍） 副教材 歴史の学習②③（浜島書店） 公民の学習（浜島書店） グラフィックワイド歴史（とうほう）	持ちもの	教科書・ノート・ワーク、iPad、のり赤ペン、青ペン、その他指示のあったもの。
学習方法	<ul style="list-style-type: none"> ・チャイムが鳴るまでに授業の準備をして、着席しておこう。【態度】 ・授業ごとの課題をきちんと理解し、課題を解決することを心がけよう。【態度】 ・授業の内容をしっかりと聴き、ノートにメモしていこう。【知・技、態度】 ・授業ごとに課題に対する自分の考え、振り返りを必ず書こう。【思・判・表、態度】 ・地図やグラフなど資料を読み取る技術を身につけよう。【思・判・表】 ・「いいトーク」、議論など授業での活動には意欲的に参加しよう。【思・判・表、態度】 ・単元ごとの課題は期限までに提出できるように計画的に取り組もう。【思・判・表、態度】 ・中間、期末テストで結果を出そう。【知・技、思・判・表、態度】 		
家庭	※自分で「読む力」「解く力」「書き表す力」を磨きましょう。 ・メディアや本などで社会的事象に興味・関心を持とう。 ・まず教科書を読んで、自分なりに理解してみてください。 ・プリントなどの問題をやる場合は、まず問題を読み、理解した上で解いていこう。 ・テストは日々の積み重ねが結果にあらわれます。 ・配られた問題プリント、テストは高校受験のときのために必ず保管しておこう。 ・時間は限られています。大切に使いましょう		

【社会科】年間指導計画 第3学年

月	時	第3学年(140時間) 歴史・公民	
4月	8	(歴史) 5編 2章 二度の世界大戦と日本 導入 ①第一次世界大戦と戦後の世界 ②大正デモクラシーの時代 ③世界恐慌と中国との戦争 ④第二次世界大戦と日本 まとめ	1 3 3 4
5月	15	6編 近代の日本と世界 導入 ①平和と民主化への動き 6 ②国際化する世界と日本 5 まとめ	4 1
6月	17	歴史を学んで	1
7月	8	(公民) 持続可能な社会の実現に向けて(公民)/公民学習の初めに 1章 現代社会と私たち 導入 ①現代社会の特色と私たち ②私たちの生活と文化 ③現代社会の見方と考え方 まとめ	1 1 4 3 4 1
9月	15	2章 個人の尊重と日本国憲法 導入 ①人権と日本国憲法	1 5
評価などの予備時間			8
10月	17	②人権と共生社会 ③これからの人権保障 まとめ 3章 現代の民主政治と社会 導入 ①現代の民主政治	6 3 1
11月	15	②国の政治の仕組み ③地方自治と私たち まとめ	10 5
12月	12	4章 私たちの暮らしと経済 導入 ①消費生活と市場経済 5	1
1月	12	②生産と労働 ③市場経済の仕組みと金融 ④財政と国民の福祉 ⑤これからの経済と社会 まとめ	5 6 4 2 1
2月	16	5章 地球社会と私たち 導入 ①国際社会の仕組み ②さまざまな国際問題 5 ③これからの地球社会と日本 まとめ	1 5 2 1
3月	5	終章 より良い社会を目指して	4
評価などの予備時間			8
合計	歴史	(29)	歴史 (95)
	評価などの予備時間		16

2024年度 飯南中学校 第 1 学年【教科：数学】シラバス

1.教科の目標

数量、図形などに関する基礎的な概念や原理・法則の理解を深め、事象を数理的に考察する能力を高める。
また、数学的活動の楽しさ、表現や考え方のよさを知り、それらを進んで活用しようとする態度を育てる。

2.評価の観点と内容

	観点	内容
①	知識・技能	数量・図形などに関する基礎的な原理や法則などを理解するとともに、事象を数理的に捉えたり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。
②	思考・判断・表現	数量・図形などの関係や法則、性質を直観的に捉え、論理的に考察したり、数量の関係を見だし、その特徴やデータの傾向を読み取り、批判的に考察して判断したりすることができる。
③	主体的に学習に取り組む態度	数学的活動の楽しさや数学のよさに気付いて粘り強く考え、数学を生活や学習にすすんで生かそうとしたり、問題解決の過程を振り返って検討しようとしたり、多面的に捉え考えようとする。

3.評価方法

【授業】	<ul style="list-style-type: none">授業の内容を、粘り強く学ぼうとしているか。自らの学びを自分なりに工夫したり、人に聞いたりするなどの調整をしているか。
【提出物】	<ul style="list-style-type: none">ワーク、プリント(自主的に問題を解き、なぜその答えになるかをしっかりと考えているか)振り返りシート(めあてや内容をふりかえり、学習の調整をしようとしているか)家庭学習(取り組みノート)
【テスト】	<ul style="list-style-type: none">定期テスト(観点別内容に沿ってどこまで到達しているか)章末テスト

4.学習の手引き

使用教材	教科書 未来へひろがる数学1(啓林館) 副教材 数学の学習ノート1 ICT機器 ※学校で1人1台用意します。	もちもの 教科書、ノート×2、ワーク、直定規、コンパス 分度器、三角定規
学習方法	学 校 ・小学校の学習内容をしっかりと振り返り、身につけておく。 ・板書だけでなく、ノートは板書だけでなく、気付いたことなど工夫して丁寧に書き、自分のノートを作っていく。 ・数学は、積み重ねの学問。分からないところは、そのままにせず、自分から進んで解決する努力をする。 ・答えを確認するのではなく、なぜその答えになるかをしっかりと考えていく。	家 庭 ・答えを確認するのではなく、なぜその答えになるかをしっかりと考えていく。 ・振り返りシートを活用し、主体的に学習に取り組む。 ・自分の理解できていること、疑問点を確認し、問題の解決につなげていく。 ・教科書の問題、ワーク、授業で配られたプリントは必ず取り組む。 ・速く正確に問題が解けるように、何度も繰り返し解いていく。 ・生活の中で数学の見方や考え方、表現することがないかを探してみる。

5. 年間計画

月	単元名	内容の評価と観点
4	1章 正の数・負の数 1節 正の数・負の数 ・0より小さい数 ・正の数・負の数で量で表すこと ・絶対値と数の大小 2節 正の数・負の数の計算 ・正の数・負の数の加法, 減法 ・正の数・負の数の乗法, 除法 ・いろいろな計算 ・数の世界のひろがり	○正の数と負の数の必要性和意味を考えようとしている。 ○正の数・負の数を数直線を用いて表せ、その大小を判断できる。 ○正の数と負の数について学んだことを生活や学習にいかそうとしている。 ○正の数・負の数の加法、減法の計算ができる。 ○正の数・負の数の乗法、除法の計算ができる。 ○かっこを含む計算、加減乗除が混じった計算ができる。 ○正の数と負の数を活用した問題解決の過程をふり返って検討しようとしている。
5	3節 正の数・負の数の利用 ・正の数・負の数の利用	
6	2章 文字の式 1節 文字を使った式 ・数量を文字で表すこと ・文字式の表し方 ・式の値 2節 文字式の計算 ・文字式の加法、減法 ・文字式と数の乗法、除法 ・関係を表す式	○文字を用いることの必要性和意味を考え、式に表したり、式の値を求め、文字の式についての理解を深める。 ○文字式のきまりにしたがって表し、数量や数量の関係を等式、不等式に表すことができる。 ○文字を用いた式について学んだことを生活や学習にいかそうとしている。 ○文字を用いた式を活用した問題解決の過程をふり返って検討しようとしている。
7	3章 方程式 1節 方程式 ・方程式とその解 ・方程式の解き方 ・比と比例式 2節 方程式の利用 ・方程式の利用 ・比例式の利用	○一元一次方程式の必要性和意味を考えようとしている。 ○一元一次方程式の解法を理解し、その解法に習熟する。 ○一元一次方程式について学んだことを生活や学習にいかそうとしている。 ○一元一次方程式を活用した問題解決の過程をふり返って検討しようとしている。
9 期末		
10		
11	4章 変化と対応 1節 関数 ・関数 2節 比例 ・比例の式 ・座標 ・比例のグラフ 3節 反比例 ・反比例の式 ・反比例のグラフ 4節 比例反比例の利用 ・比例, 反比例の利用	○比例, 反比例の必要性和意味を考えようとしている。 ○ともなって変わる2つの数量を見だし、変化の様子や対応の特徴が理解できる。 ○座標と座標平面の考え方を理解する。 ○関数を表やグラフや式で表すことができる。 ○関数について学んだことを生活や学習にいかそうとしている。 ○比例, 反比例を活用した問題解決の過程をふり返り検討しようとしている。
中間		
12	5章 平面図形 1節 直線と図形 ・直線と図形 2節 移動と作図 ・図形の移動 ・基本の作図 ・図形の移動と基本の作図の利用 3節 円とおうぎ形 ・円とおうぎ形の性質 ・円とおうぎ形の計量	○平面図形の性質や関係を捉えることの必要性和意味を考えようとしている。 ○平行、回転、対称移動の意味を理解する。 ○基本的な作図や図形の移動を活用した問題解決の過程をふり返って検討しようとしている。 ○円の接線、弧、弦の意味を理解する。 ○ π を用いて、おうぎ形について求めることができる。 ○平面図形について学んだことを生活や学習にいかそうとしている。
1	6章 空間図形 1節 立体と空間図形 ・いろいろな立体 ・空間内の平面と直線 ・立体の構成 2節 立体の体積と表面積 ・立体の体積 ・立体の表面積	○空間図形の性質や関係を捉えることの必要性和意味を身のまわりの具体物をイメージしながら考えようとしている。 ○さまざまな立体の体積と表面積を求めることができる。 ○空間図形について学んだことを生活や学習にいかそうとしている。 ○空間図形の性質や関係を活用した問題解決の過程をふり返って検討しようとしている。
2		
3	7章 資料の活用 1節 ヒストグラムと相対度数 ・データを活用して問題を解決しよう ・整理されたデータから読みとろう 2節 データにもとづく確率 ・相対度数と確率	○データの必要性和意味を考え、生活や学習にいかそうとしている。 ○ヒストグラムや相対度数、確率などを活用した問題解決の過程をふり返って検討しようとしたり、多面的に捉え考えようとしたりしている。
3 期末		

2024年度 飯南中学校 第 2 学年【教科：数学】シラバス

1.教科の目標

数量、図形などに関する基礎的な概念や原理・法則の理解を深め、事象を数理的に考察する能力を高める。
また、数学的活動の楽しさ、表現や考え方のよさを知り、それらを進んで活用しようとする態度を育てる。

2.評価の観点と内容

	観点	内容
①	知識・技能	数量・図形などに関する基礎的な原理や法則などを理解するとともに、事象を数理的に捉えたり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。
②	思考・判断・表現	数量・図形などの関係や法則、性質を直観的に捉え、論理的に考察したり、数量の関係を見だし、その特徴やデータの傾向を読み取り、批判的に考察して判断したりすることができる。
③	主体的に学習に取り組む態度	数学的活動の楽しさや数学のよさに気付いて粘り強く考え、数学を生活や学習にすすんで生かそうとしたり、問題解決の過程を振り返って検討しようとしたり、多面的に捉え考えようとする。

3.評価方法

【授業】	<ul style="list-style-type: none"> 授業の内容を、粘り強く学ぼうとしているか。 自らの学びを自分なりに工夫したり、人に聞いたりするなどの調整をしているか。
【提出物】	<ul style="list-style-type: none"> ワーク、プリント(自主的に問題を解き、なぜその答えになるかをしっかりと考えているか) 振り返りシート(めあてや内容をふりかえり、学習の調整をしようとしているか) 家庭学習(取り組みノート)
【テスト】	<ul style="list-style-type: none"> 定期テスト(観点別内容に沿ってどこまで到達しているか) 章末テスト

4.学習の手引き

使用教材	教科書 未来へひろがる数学2 (啓林館) 副教材 数学の学習ノート2 ICT機器 ※学校で1人1台用意します。	もちもの 教科書、ノート×2、ワーク、直定規、コンパス 分度器、三角定規
学習方法	<p>学 校</p> <ul style="list-style-type: none"> 1, 2年生の学習内容をしっかりと振り返り、身につけておく。 板書だけでなく、ノートは板書だけでなく、気付いたことなど工夫して丁寧に書き、自分のノートを作っていく。 数学は、積み重ねの学問。分からないところは、そのままにせず、自分から進んで解決する努力をする。 答えを確認するだけでなく、なぜその答えになるかをしっかりと考えていく。 <p>家 庭</p> <ul style="list-style-type: none"> 答えを確認するだけでなく、なぜその答えになるかをしっかりと考えていく。 振り返りシートを活用し、主体的に学習に取り組む。 自分の理解できていること、疑問点を確認し、問題の解決につなげていく。 教科書の問題、ワーク、授業で配られたプリントは必ず取り組む。 速く正確に問題が解けるように、何度も繰り返し解いていく。 生活の中で数学の見方や考え方、表現することがないかを探してみる。 	

5. 年間計画

月	単元名	内容の評価と観点
4	1章 式の計算 1節 式の計算 ・式の加法, 減法 ・いろいろな多項式の計算 ・単項式の乗法, 除法	○文字を用いた式の必要性和意味を考えようとしている。 ○単項式, 多項式, 式の次数, 同類項の意味を理解し, 計算ができる。 ○文字を用いた式について学んだことを生活や学習にいかそうとしている。
5	2節 文字式の利用 ・文字式の利用	○文字を用いた式を活用した問題解決の過程をふり返って評価・改善しようとしている。
6	2章 連立方程式 1節 連立方程式 ・連立方程式とその解 ・連立方程式の解き方	○連立方程式の必要性和意味を考え, 解くことができる。 ○連立方程式について学んだことを生活や学習にいかそうとしている。
中間	2節 連立方程式の利用 ・連立方程式の利用	○連立方程式を活用した問題解決の過程をふり返って評価・改善しようとしている。
7	3章 一次関数 1節 一次関数とグラフ ・一次関数 ・一次関数の値の変化 ・一次関数のグラフ ・一次関数の式を求めること	○一次関数の必要性和意味を考えようとしている。 ○一次関数について, その関係を式で表したり, 変化の割合を求めたりすることができる。 ○切片や傾きをもとに, 一次関数のグラフがかけられる。
9	2節 一次関数と方程式 ・方程式とグラフ ・連立方程式とグラフ	○いろいろな条件をみたす一次関数を求めることができる。 ○連立方程式の解とグラフの交点の座標との関係を利用し考えられる。
期末	3節 一次関数の利用 ・一次関数の利用	○一次関数について学んだことを生活や学習にいかそうとしている。 ○一次関数を活用した問題解決の過程をふり返って評価・改善しようとしている。
10	4章 図形の調べ方 1節 平行と合同 ・角と平行線 ・多角形の角 ・三角形の合同	○平行線の性質や多角形の角の性質を理解している。 ○図形の性質などを証明することの必要性和意味を考えようとしている。
11	2節 証明 ・証明とそのしくみ ・証明の進め方	○平面図形の性質について学んだことを生活や学習にいかそうとしている。 ○平面図形の性質を活用した問題解決の過程をふり返って評価・改善しようとしている。
中間	5章 図形の性質と証明 1節 三角形 ・二等辺三角形 ・直角三角形の合同	○定義と定理, 逆の意味を理解している。 ○二等辺三角形の性質や平行四辺形の性質, 平行四辺形になるための条件を利用して, 図形のいろいろな性質を考察することができる。
12	2節 四角形 ・平行四辺形の性質 ・平行四辺形になるための条件 ・いろいろな四角形	○面積を変えないで図形の形を変えることができる。 ○三角形や平行四辺形の性質について学んだことを生活や学習にいかし, 活用した問題解決の過程をふり返って評価・改善しようとしている。
1	・平行線と面積 ・四角形の性質の利用	
2	6章 場合の数と確率 1節 場合の数と確率 ・確率の求め方 ・いろいろな確率	○場合の数をもとにして得られる確率の必要性和意味を考え, 学んだことを生活や学習にいかそうとしている。
期末	・確率の利用	○確率を活用した問題解決の過程をふり返って評価・改善しようとしている。
3	7章 箱ひげ図とデータの活用 1節 箱ひげ図 ・箱ひげ ・データを活用して問題を解決しよう	○箱ひげ図や四分位範囲の必要性和意味を考え, 学んだことを生活や学習にいかそうとしている。また, 多様な考えを認め, よりよく問題解決しようとしている。

2024年度 飯南中学校 第 3 学年【教科：数学】シラバス

1.教科の目標

数量、図形などに関する基礎的な概念や原理・法則の理解を深め、事象を数理的に考察する能力を高める。
また、数学的活動の楽しさ、表現や考え方のよさを知り、それらを進んで活用しようとする態度を育てる。

2.評価の観点と内容

	観点	内容
①	知識・技能	数量・図形などに関する基礎的な原理や法則などを理解するとともに、事象を数理的に捉えたり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。
②	思考・判断・表現	数量・図形などの関係や法則、性質を直観的に捉え、論理的に考察したり、数量の関係を見いだし、その特徴やデータの傾向を読み取り、批判的に考察して判断したりすることができる。
③	主体的に学習に取り組む態度	数学的活動の楽しさや数学のよさに気付いて粘り強く考え、数学を生活や学習にすすんで生かそうとしたり、問題解決の過程を振り返って検討しようとしたり、多面的に捉え考えようとする。

3.評価方法

【授業】	<ul style="list-style-type: none">授業の内容を、粘り強く学ぼうとしているか。自らの学びを自分なりに工夫したり、人に聞いたりするなどの調整をしているか。
【提出物】	<ul style="list-style-type: none">ワーク、プリント(自主的に問題を解き、なぜその答えになるかをしっかりと考えているか)振り返りシート(めあてや内容をふりかえり、学習の調整をしようとしているか)家庭学習(取り組みノート)
【テスト】	<ul style="list-style-type: none">定期テスト(観点別内容に沿ってどこまで到達しているか)章末テスト

4.学習の手引き

使用教材	教科書 未来へひろがる数学3 (啓林館) 副教材 数学の学習ノート3 ICT機器 ※学校で1人1台用意します。	もちもの 教科書、ノート×2、ワーク、直定規、コンパス 分度器、三角定規
学習方法	学 校 ・1, 2年生の学習内容をしっかりと振り返り、身につけておく。 ・板書だけでなく、ノートは板書だけでなく、気付いたことなど工夫して丁寧に書き、自分のノートを作っていく。 ・数学は、積み重ねの学問。分からないところは、そのままにせず、自分から進んで解決する努力をする。 ・答えを確認するだけでなく、なぜその答えになるかをしっかりと考えていく。	家 庭 ・答えを確認するだけでなく、なぜその答えになるかをしっかりと考えていく。 ・振り返りシートを活用し、主体的に学習に取り組む。 ・自分の理解できていること、疑問点を確認し、問題の解決につなげていく。 ・教科書の問題、ワーク、授業で配られたプリントは必ず取り組む。 ・速く正確に問題が解けるように、何度も繰り返し解いていく。 ・生活の中で数学の見方や考え方、表現することがないかを探してみる。

5. 年間計画

月	単元名	内容の評価と観点
4	1章 式の展開と因数分解 1節 式の展開と因数分解 ・式の乗法, 除法 ・乗法の公式 ・因数分解	○式の展開や因数分解の必要性和意味を考え、利用して、数の計算や図形の性質について考察することができる。 ○多項式について学んだことを生活や学習にいかし、活用した問題解決の過程をふり返って評価・改善しようとしている。
5	2節 式の計算の利用 ・式の計算の利用 2章 平方根 1節 平方根 ・平方根 ・平方根の値 ・有理数と無理数 ・真の値と近似値	○数の平方根の必要性和意味を考えようとしている。 ○無理数を考えることによって数の範囲が拡張されている, という見方ができる。 ○数の平方根について学んだことを生活や学習にいかそうとしている。 ○数の平方根を活用した問題解決の過程をふり返って評価・改善しようとしている。
6	2節 根号をふくむ式の計算 ・根号をふくむ式の乗法, 除法 ・根号をふくむ式の計算 3節 平方根の利用 ・平方根の利用	○数の平方根を活用した問題解決の過程をふり返って評価・改善しようとしている。
7	3章 二次方程式 1節 二次方程式 ・二次方程式とその解き方 ・二次方程式の解の公式 ・二次方程式と因数分解 2節 二次方程式の利用 ・二次方程式の利用	○二次方程式の必要性和意味を考え、学んだことを生活や学習にいかそうとしている。 ○因数分解や平方根の考えや解の公式を利用して二次方程式を解くことができる。 ○二次方程式を活用した問題解決の過程をふり返って評価・改善しようとしている。
9 期末	4章 関数 $y=ax^2$ 1節 関数とグラフ ・関数 $y=ax^2$ ・関数 $y=ax^2$ のグラフ 2節 関数$y=ax^2$の値の変化 ・関数 $y=ax^2$ の値の増減と変域 ・関数 $y=ax^2$ の変化の割合 3節 いろいろな事象と関数 ・関数 $y=ax^2$ の利用 ・いろいろな関数	○関数 $y=ax^2$ の必要性和意味を考え、グラフをかいたり, その特徴を調べたりすることができる。 ○グラフが階段状になる関数について, 値の変化を調べたり2つの関数の値を比較し考察したりすることができる。 ○関数 $y=ax^2$ について学んだことを生活や学習にいかそうとしている。
10	5章 図形と相似 1節 図形と相似 ・相似な図形 ・三角形の相似条件 ・三角形の相似条件と証明	○関数 $y=ax^2$ を活用した問題解決の過程をふり返って評価・改善しようとしている。
11	2節 平行線と線分の比 ・平行線と線分の比 ・中点連結定理 3節 相似な図形の計量 ・相似な図形の面積 ・相似な立体の表面積・体積 4節 相似の利用 ・相似の利用	○相似な図形の性質の必要性和意味を考察することができる。 ○三角形の相似条件を利用して図形の性質を考察し, それを証明することができる。 ○三角形の比の性質, 中点連結定理, 平行線と比の性質を証明することができる, それらを利用して, いろいろな線分の長さを求めることができる。 ○図形の相似について学んだことを生活や学習にいかそうとしている。
12	6章 円の性質 1節 円周角と中心角 ・円周角と中心角 ・円周角の定理の逆 2節 円の性質の利用 ・円の性質の利用	○相似な図形の性質を活用した問題解決の過程をふり返って評価・改善しようとしている。
1	7章 三平方の定理 1節 直角三角形の3辺の関係 ・三平方の定理 2節 三平方の定理の利用 ・三平方の定理の利用	○円周角と中心角の関係の必要性和意味を考え、学んだことを生活や学習にいかそうとしている。 ○円周角と中心角の関係を活用した問題解決の過程をふり返って評価・改善しようとしている。
2	8章 標本調査とデータの活用 1節 標本調査 ・標本調査の方法 ・母集団と標本の関係 ・データを活用して問題を解決しよう	○三平方の定理の必要性和意味を考え、学んだことを生活や学習にいかそうとしている。 ○三平方の定理を活用した問題解決の過程をふり返って評価・改善しようとしている。 ○標本調査の必要性和意味を考え、学んだことを生活や学習にいかそうとしている。 ○標本調査を活用した問題解決の過程をふり返って評価・改善しようとして, 多様な考えを認め, よりよく問題解決しようとしている。

2024年度 飯南中学校 第1学年【教科:理科】シラバス

1.教科の目標

自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質、能力を次の通り育成することを目指す。

2.評価の観点と内容

	観点	内容
①	理的事象への知識・技能	自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けることができる。
②	理学的な思考・判断・表現力	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養うことができる。
③	主体的に学習に取り組む態度	自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うことができる。

3.評価方法

ノート（自分の考えや気付いたこと等が書かれているか。）
 ワーク（自主的に問題を解き、答え合わせや訂正ができているか。）
 定期テスト（観点別の内容に沿って、どこまで到達しているか。）
 授業中の態度（授業内容をしっかりと考えているか。粘り強く学ぼうとしているか。実験への姿勢。）
 ふりかえり（めあてに対してふりかえり、学習の調整をしようとしているか。）

4.学習の手引き

使用教材	教科書 未来へ広がるサイエンス 1 啓林館 副教材 理科ノート 正進社 グラフィック理科資料集 新学社 よくわかる理科の学習 明治図書	もちもの 教科書 理科ノート 理科資料集 iPad
学習方法	学 校	<ul style="list-style-type: none"> ○学習課題をしっかりとらえ、授業や実験に積極的に取り組もう。 ○わからないところは、先生に質問したり、友だちに聞いたりして、必ず克服しよう。 ○ノートやレポートは、自分の考えや学習結果などを丁寧にわかりやすく、自分の言葉で書こう。 ○自主勉強などを通して、家庭学習は毎日こつこつやっといこう。 ○授業や実験には、集中して積極的に取り組もう。
	家 庭	<ul style="list-style-type: none"> ○授業があった日は、教科書、ノートを中心に復習しよう。 ○ワークなどを利用して問題を解く練習をしながら、確実に知識を身につけていこう。

5. 年間計画

月	単元名	内容
4	序章 自然の中にあふれる生命	1 身のまわりの生物の観察 2 生物のなかま分けのしかた
5	いろいろな生物とその共通点 1章 植物の特徴と分類	1 花のつくり 2 子葉, 葉, 根のつくり 3 種子をつくらない植物 4 植物の分類
6	2章 動物の特徴と分類	1 動物の体のつくりと生活 2 背骨のある動物 3 背骨のない動物 4. 動物の分類
7	身のまわりの物質 1章 いろいろな物質とその性質	1 物質の区別 2 重さ・体積と物質の区別
9	2章 いろいろな気体とその性質	1 気体の区別 2 身のまわりのものから発生した気体の区別
10	3章 水溶液の性質	1 物質のとけ方 2 濃さの表し方 3 溶質のとり出し方
10	4章 物質のすがたとその変化	1 物質のすがたの変化 2 状態変化と温度 3 混合物の分け方
11	光・音・力による現象 1章 光による現象	1 光の進み方 2 光が通りぬけるときのようす 3 レンズのはたらき
12	2章 音による現象	1 音の伝わり方 2 音の大小と高低
1	3章 力による現象	1 力のはたらき 2 力の大きさのはかり方 3 重さと質量 4 力の表し方 5 1つの物体に2つの力がはたらくとき
2	活きている地球 1章 身近な大地	1 身近な大地の変化 2 地域の大地の観察
2	2章 ゆれる大地	1 ゆれの発生と伝わり方 2 ゆれの大きさ 3 日本列島の地震
3	3章 火をふく大地	1 火山の噴火 2 マグマの性質と火山 3 マグマからできた岩石
3	4章 語る大地	4 日本列島の火山 1 地層のでき方 2 地層の岩石 3 地層・化石と大地の歴史 4 大地の恵みと災害

2024年度 飯南中学校 第2学年【教科:理科】シラバス

1.教科の目標

自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質、能力を次の通り育成することを目指す。

2.評価の観点と内容

	観点	内容
①	理的事象への知識・技能	自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けることができる。
②	理学的な思考・判断・表現力	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養うことができる。
③	主体的に学習に取り組む態度	自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うことができる。

3.評価方法

ノート（自分の考えや気付いたこと等が書かれているか。）
 ワーク（自主的に問題を解き、答え合わせや訂正ができているか。）
 定期テスト（観点別の内容に沿って、どこまで到達しているか。）
 授業中の態度（授業内容をしっかりと考えているか。粘り強く学ぼうとしているか。実験への姿勢。）
 ふりかえり（めあてに対してふりかえり、学習の調整をしようとしているか。）

4.学習の手引き

使用教材	教科書 未来へ広がるサイエンス 2 啓林館 副教材 理科ノート 正進社 グラフィック理科資料集 新学社 よくわかる理科の学習 明治図書	もちもの 教科書 理科ノート 理科資料集 iPad
学習方法	学 校	<ul style="list-style-type: none"> ○学習課題をしっかりとらえ、授業や実験に積極的に取り組もう。 ○わからないところは、先生に質問したり、友だちに聞いたりして、必ず克服しよう。 ○ノートやレポートは、自分の考えや学習結果などを丁寧にわかりやすく、自分の言葉で書こう。 ○自主勉強などを通して、家庭学習は毎日コツコツやっとう。 ○授業や実験には、集中して積極的に取り組もう。
	家 庭	<ul style="list-style-type: none"> ○授業があった日は、教科書、ノートを中心に復習しよう。 ○ワークなどを利用して問題を解く練習をしながら、確実に知識を身につけていこう。

5. 年間計画

月	単元名	内容
4	化学変化と原子・分子 1章 物質の成り立ち	1 物質を加熱したときの変化 2 水溶液に電流を流したときの変化 3 物質のもとになる粒子
5	2章 物質の表し方	4 原子が結びついてできる粒子 1 物質を表す記号 2 物質を表す式 3 化学変化を表す式
6	3章 さまざまな化学変化	1 物質どうしが結びつく変化 2 物質が酸素と結びつく変化 3 酸化物から酸素をとり除く変化 4 化学変化と熱の出入り
7	4章 化学変化と物質の質量	1 化学変化の前後での物質の質量 2 反応する物質どうしの質量の割合
9	生物の体のつくりとはたらき 1章 生物の体をつくるもの	1 生物の体の成り立ち 2 細胞のつくり 3 細胞のはたらき
10	2章 植物の体のつくりとはたらき	1 栄養分をつくる 2 植物の呼吸 3 水や栄養分を運ぶ
11	3章 動物の体のつくりとはたらき	1 栄養分をとり入れる 2 動物の呼吸 3 不要な物質のゆくえ
12	4章 動物の行動のしくみ	4 物質を運ぶ 1 感じ取るしくみ 2 刺激を伝えたり反応したりするしくみ 3 運動のしくみ
1	地球の大気と天気の変化 1章 地球をとり巻く大気のようにす	1 大気の中ではたらく力 2 大気のようにすを観測する
2	2章 大気中の水の変化	1 霧のでき方 2 雲のでき方 3 空気にふくまれる水蒸気の量
3	3章 天気の変化と大気の動き	1 風がふくしくみ 2 大気の動きによる天気の変化 3 地球規模での大気の動き
4	4章 大気の動きと日本の四季	1 陸と海の間の大気の動き 2 日本の四季の天気 3 天気の変化がもたらす恵みと災害
1	電流とその利用 1章 電流の性質	1 電流が流れる道すじ 2 回路に流れる電流 3 回路に加わる電圧 4 電圧と電流の関係
2	2章 電流の正体	5 電流, 電圧, 電気抵抗の求め方 6 電流のはたらきを表す量 1 静電気 2 静電気と電流の関係 3 電流の正体
3	3章 電流と磁界	4 放射線の発見とその利用 1 磁界 2 モーターのしくみ 3 発電機のしくみ

2024年度 飯南中学校 第3学年【教科:理科】シラバス

1.教科の目標

自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質、能力を次の通り育成することを目指す。

2.評価の観点と内容

	観点	内容
①	理的事象への知識・技能	自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けることができる。
②	理学的な思考・判断・表現力	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養うことができる。
③	主体的に学習に取り組む態度	自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うことができる。

3.評価方法

ノート（自分の考えや気付いたこと等が書かれているか。）
 ワーク（自主的に問題を解き、答え合わせや訂正ができているか。）
 定期テスト（観点別の内容に沿って、どこまで到達しているか。）
 授業中の態度（授業内容をしっかりと考えているか。粘り強く学ぼうとしているか。実験への姿勢。）
 ふりかえり（めあてに対してふりかえり、学習の調整をしようとしているか。）

4.学習の手引き

使用教材	教科書 未来へ広がるサイエンス 3 啓林館 副教材 理科ノート 正進社 グラフィック理科資料集 新学社 よくわかる理科の学習 明治図書	もちもの 教科書 理科ノート 理科資料集 iPad
学習方法	学 校	<ul style="list-style-type: none"> ○学習課題をしっかりとらえ、授業や実験に積極的に取り組もう。 ○わからないところは、先生に質問したり、友だちに聞いたりして、必ず克服しよう。 ○ノートやレポートは、自分の考えや学習結果などを丁寧にわかりやすく、自分の言葉で書こう。 ○自主勉強などを通して、家庭学習は毎日こつこつやっといこう。 ○授業や実験には、集中して積極的に取り組もう。
	家 庭	<ul style="list-style-type: none"> ○授業があった日は、教科書、ノートを中心に復習しよう。 ○ワークなどを利用して問題を解く練習をしながら、確実に知識を身につけていこう。

5. 年間計画

月	単元名	内容
4	生命の連続性 1章 生物のふえ方と成長	1 生物のふえ方 2 細胞のふえ方
5	2章 遺伝の規則性と遺伝子 3章 生物の種類多様性と進化	1 親から子への特徴の伝わり方 2 遺伝のしくみ 3 遺伝子の本体 1 生物の共通性と多様性 2 進化の証拠 3 生物の移り変わりと進化
6	化学変化とイオン 1章 水溶液とイオン	1 水溶液にすると電流が流れる物質 2 電解質の水溶液に電流が流れたときの変化 3 電気を帯びた粒子の正体
7	2章 電池とイオン 3章 酸・アルカリと塩	1 金属のイオンへのなりやすさ 2 電池のしくみ 3 日常生活と電池 1 酸性やアルカリ性の水溶液の性質 2 酸性やアルカリ性の性質を決めているもの 3 酸性・アルカリ性の強さ 4 酸とアルカリを混ぜたときの変化 5 イオンで考える中和
9	運動とエネルギー 1章 力の合成と分解	1 水中の物体にはたらく力 2 力の合成 3 力の分解
10	2章 物体の運動 3章 仕事とエネルギー	1 運動の表し方 2 水平面上での物体の運動 3 斜面上の物体の運動 4 物体間での力のおよぼし合い 1 仕事 2 エネルギー 3 位置エネルギーと運動エネルギー
11	4章 多様なエネルギーとその移り変わり 5章 エネルギー資源とその利用	1 エネルギーの種類 2 エネルギーの変換と保存 3 熱の移動 1 生活を支えるエネルギー 2 エネルギー利用上の課題 3 エネルギーの有効利用
12	宇宙を観る 1章 地球から宇宙へ	1 地球・月・太陽 2 太陽系 3 宇宙の広がり
1	2章 太陽と恒星の動き 3章 月と金星の動きと見え方	1 太陽の動き 2 星座の星の動き 1 月の動きと見え方 2 金星の動きと見え方
2	自然と人間 1章 自然界のつり合い	1 生物どうしのつながり 2 生態系における生物の数量的関係 3 生物の遺骸のゆくえ 4 生物の活動を通じた物質の循環
3	2章 さまざまな物質の利用と人間 3章 科学技術の発展 4章 人間と環境 5章 持続可能な社会をめざして	1 天然の物質と人工の物質 2 プラスチック 1 科学技術の発展の歴史 2 科学技術の利用とくらし 1 身近な自然環境の調査 2 自然が人間の生活におよぼす影響 3 人間の活動と自然環境 1 科学技術の発展と課題 2 これからの社会を担う

2024年度 飯南中学校 第 1 学年【教科:音 楽】シラバス

1.教科の目標

<p>○表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>1. 曲想と音楽の構造や背景などの関わり、及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけるようにする。(知識及び技能)</p> <p>2. 音楽表現を創意工夫することや、音楽の良さや美しさを味わって聴くことができるようにする。(思考・判断・表現)</p> <p>3. 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。(学びに向かう力、人間性等)</p>

2.評価の観点と内容

	観点	内容
①	知識、技能	<ul style="list-style-type: none"> ・曲想と音楽の構造などの関わり及び音楽の多様性について理解している ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。
②	思考、判断、表現	<p>音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関りについて考え、どのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。</p>
③	主体的に取り組む態度	<p>音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協同的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>

3.評価方法

<p>①日常の表現活動。実技テスト。定期テスト。ワークの記述。</p> <p>②日常の表現活動。実技テスト。定期テスト。ワークの記述。鑑賞ワーク。</p> <p>③授業中の活動状況。授業の準備状況。提出物。授業のまとめと振り返りの記述。</p>

4.学習の手引き

使用教材	教科書 中学生の音楽 1 中学生の器楽 合唱曲集 コーラスフェスティバル ワーク アルトリコーダー ICT機器 ※学校で1人1台用意します。	もちもの 教科書(中学の音楽1・器楽) コーラスフェスティバル(合唱曲集) ファイル アルトリコーダー ワーク 筆箱
学習方法	<p>○楽譜を理解するため知識や音楽用語について、しっかり学びましょう。</p> <p>・楽譜や音楽の記号・用語は音楽を共通理解するためのツールです。しっかり学習し音楽活動の基礎固めをしましょう。板書されたことや気付いたことなど、工夫してまとめましょう。</p> <p>○歌唱や楽器演奏などの活動に意欲的に取り組みましょう。</p> <p>・苦手意識や恥ずかしさで、実技活動に消極的では力を伸ばすチャンスを失ってしまいます。積極的に練習しましょう。</p> <p>○仲間と一緒に高め合いましょう。</p> <p>・他の人の歌唱や楽器演奏の良いところを取り入れたりして、お互いの音楽力を伸ばしていきましょう。</p> <p>○鑑賞においてはその曲の歴史的背景、文化、作曲者の意図をくみ取り聴きましょう。</p> <p>○ワークは授業を受けたところを組み、丸つけまでしておきましょう。</p> <p>○提出物の期限は必ず守りましょう。</p> <p>○準備物を整え、授業開始までに席につきましょう。</p>	
家庭	<p>○基礎知識の復讐をして理解を定着させましょう。</p> <p>○家庭や学校外でも様々な音楽に触れる機会を持ちましょう。</p>	

5. 年間計画

月	単元名	内容
4	オリエンテーション 校歌 Well Find The Way～はるかな道へ	歌唱
5	音楽の約束 校歌テスト Lesson1 『春』	楽典 歌唱テスト アルトリコーダー 鑑賞
6	主人は冷たい土の中に 『魔王』 音楽の約束 Lesson1	歌唱 鑑賞 楽典 アルトリコーダー
7	アルトリコーダーテスト 浜辺の歌 ～合唱フェスティバルに向けて～ 合唱フェスティバルの合唱曲の選曲	アルトリコーダーテスト 歌唱 合唱
9	合唱フェスティバルの取り組み	
10	「合唱フェスティバル合唱曲」	
11	「合唱フェスティバル合唱曲」 合唱フェスティバルの反省 かっこう、そっとやさしく	アルトリコーダー
12	雅楽「平調 越天楽」 ～式歌への取り組み～ 赤とんぼ 歌唱テスト	鑑賞 歌唱 歌唱テスト
1	リコーダーテスト 旅立ちの日に 卒業式合唱曲 式歌「旅立ちの日に」	リコーダーテスト 合唱 合唱 合唱
2	卒業式合唱曲	合唱
3	器楽 箏 『六段の調べ』 1年間の復讐	箏 鑑賞

※定期テストの予定

- ・前期期末テスト
- ・後期期末テスト

2024年度 飯南中学校 第 2 学年【教科:音 楽】シラバス

1.教科の目標

<p>○表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>1. 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり、及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけるようにする。(知識及び技能)</p> <p>2. 音楽表現を創意工夫することや、音楽の良さや美しさを味わって聴くことができるようにする。(思考・判断・表現)</p> <p>3. 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。(学びに向かう力、人間性等)</p>

2.評価の観点と内容

	観点	内容
①	知識、技能	<ul style="list-style-type: none"> ・曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。
②	思考、判断、表現	<p>音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関りについて考え、曲にふさわしい音楽表現としてどのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。</p>
③	主体的に取り組む態度	<p>音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協同的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>

3.評価方法

<p>①日常の表現活動。実技テスト。定期テスト。ワークの記述。</p> <p>②日常の表現活動。実技テスト。定期テスト。ワークの記述。鑑賞ワーク。</p> <p>③授業中の活動状況。授業の準備状況。提出物。授業のまとめと振り返りの記述。</p>

4.学習の手引き

使用教材	教科書 中学生の音楽 2. 3上 中学生の器楽 合唱曲集 マイソング ワーク アルトリコーダー ICT機器 ※学校で1人1台用意します。	もちもの 教科書 マイソング(合唱曲集) ファイル アルトリコーダー ワーク 筆箱
学習方法	<p>○楽譜を理解するため知識や音楽用語について、しっかり学びましょう。</p> <p>・楽譜や音楽の記号・用語は音楽を共通理解するためのツールです。しっかり学習し音楽活動の基礎固めをしましょう。板書されたことや気付いたことなど、工夫してまとめましょう。</p> <p>○歌唱や楽器演奏などの活動に意欲的に取り組みましょう。</p> <p>・苦手意識や恥ずかしさで、実技活動に消極的では力を伸ばすチャンスを失ってしまいます。積極的に練習しましょう。</p> <p>○仲間と一緒に高め合いましょう。</p> <p>・他の人の歌唱や楽器演奏の良いところを取り入れたりして、お互いの音楽力を伸ばしていきましょう。</p> <p>○鑑賞においてはその曲の歴史的背景、文化、作曲者の意図をくみ取り聴きましょう。</p> <p>○ワークは授業を受けたところを取り組み、丸つけまでしておきましょう。</p> <p>○提出物の期限は必ず守りましょう。</p> <p>○準備物を整え、授業開始までに席につきましょう。</p>	
家庭	<p>○基礎知識の復讐をして理解を定着させましょう。</p> <p>○家庭や学校外でも様々な音楽に触れる機会を持ちましょう。</p>	

5. 年間計画

月	単元名	内容
4	オリエンテーション 翼をください 校歌	歌唱 歌唱
5	翼をください 校歌テスト Lesson2 フーガ ト短調	歌唱 歌唱 アルトリコーダー 鑑賞
6	Lesson2 夏の思い出 交響曲第5番	アルトリコーダー 歌唱 鑑賞
7	「カノン2」リコーダーテスト ～合唱フェスティバルに向けて～ 合唱フェスティバル合唱曲の選曲	アルトリコーダー 合唱
9	合唱フェスティバルの取り組み 「合唱フェスティバル合唱曲」	
10	「合唱フェスティバル合唱曲」	
11	「合唱フェスティバル合唱曲」 合唱フェスティバルの反省 荒城の月 オーラリー	合唱 歌唱 アルトリコーダー
12	歌唱テスト リコーダーテスト オペラ「アイダ」	歌唱テスト リコーダーテスト 鑑賞
1	～式歌への取り組み～ 旅立ちの日に 卒業式合唱曲	合唱
2	式歌 卒業式合唱曲 式歌「旅立ちの日に」	合唱 合唱 合唱
3	卒業式合唱曲 歌舞伎「勧進帳」 1年間の復習	合唱 鑑賞

※定期テストの予定

- ・前期期末テスト
- ・後期期末テスト

2024年度 飯南中学校 第 3 学年【教科:音 楽】シラバス

1.教科の目標

○表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

1. 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり、及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけるようにする。(知識及び技能)
2. 音楽表現を創意工夫することや、音楽の良さや美しさを味わって聴くことができるようにする。(思考・判断・表現)
3. 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。(学びに向かう力、人間性等)

2.評価の観点と内容

	観点	内容
②	知識、技能	・曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。
②	思考、判断、表現	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関りについて考え、曲にふさわしい音楽表現としてどのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。
③	主体的に取り組む態度	音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協同的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

3.評価方法

- ① 日常の表現活動。実技テスト。定期テスト。ワークの記述。
- ② 日常の表現活動。実技テスト。定期テスト。ワークの記述。鑑賞ワーク。
- ③ 授業中の活動状況。授業の準備状況。提出物。授業のまとめと振り返りの記述。

4.学習の手引き

使用教材	教科書 中学生の音楽 2.3下(2.3上) 中学生の器楽 合唱曲集 マイソング ワーク アルトリコーダー ICT機器 ※学校で1人1台用意します。	もちもの 教科書 マイソング(合唱曲集) ファイル アルトリコーダー ワーク 筆箱
学習方法	<p>○楽譜を理解するため知識や音楽用語について、しっかり学びましょう。</p> <p>・楽譜や音楽の記号・用語は音楽を共通理解するためのツールです。しっかり学習し音楽活動の基礎固めをしましょう。板書されたことや気付いたことなど、工夫してまとめましょう。</p> <p>○歌唱や楽器演奏などの活動に意欲的に取り組みましょう。</p> <p>・苦手意識や恥ずかしさで、実技活動に消極的では力を伸ばすチャンスを失ってしまいます。積極的に練習しましょう。</p> <p>○仲間と一緒に高め合いましょう。</p> <p>・他の人の歌唱や楽器演奏の良いところを取り入れたりして、お互いの音楽力を伸ばしていきましょう。</p> <p>○鑑賞においてはその曲の歴史的背景、文化、作曲者の意図をくみ取り聴きましょう。</p> <p>○ワークは授業を受けたところを組み、丸つけまでしておきましょう。</p> <p>○提出物の期限は必ず守りましょう。</p> <p>○準備物を整え、授業開始までに席につきましょう。</p>	
家庭	<p>○基礎知識の復讐をして理解を定着させましょう。</p> <p>○家庭や学校外でも様々な音楽に触れる機会を持ちましょう。</p>	

5. 年間計画

月	単元名	内容
4	オリエンテーション 校歌 オペラ『アイーダ』	歌唱 鑑賞
5	校歌テスト 花 オーラリー アニーローリー	歌唱テスト 歌唱 アルトリコーダー アルトリコーダー
6	Amazing Grace 『ブルタバ』 アニーローリー	合唱 鑑賞 アルトリコーダー
7	リコーダーテスト ～合唱フェスティバルに向けて～ 合唱フェスティバル合唱曲の選曲	リコーダーテスト
9	合唱フェスティバルの取り組み ボレロ	合唱 鑑賞
10	「合唱フェスティバル合唱曲」	合唱
11	合唱フェスティバル合唱曲 合唱フェスティバル反省	
12	ギター 尺八楽『巢鶴鈴慕』	器楽ギター 鑑賞
1	式歌 卒業式合唱曲	合唱 合唱
2	式歌 卒業式合唱	合唱 合唱
3	式歌 卒業式	合唱 合唱

※定期テストの予定

- ・前期期末テスト
- ・後期中間テスト
- ・後期期末テスト（実施しないこともある）

2024年度 飯南中学校 第1学年【教科：美術】シラバス

1.教科の目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を育成することを目指す。

2.評価の観点と内容

	観点	内容
①	美術についての知識・技能	対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができる。
②	造形的な思考・判断・表現	造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し、構想を練ったり美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。
③	主体的に学習に取り組む態度	美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に表現及び鑑賞の幅広い学習活動に取り組もうとしている。

3.評価方法

- ①作品。定期テスト。
②作品。定期テスト。
③作品。授業の準備物。提出物。授業態度。

4.学習の手引き

使用教材	教科書 美術 1 副教材 レタリング字典 感じる表す美術 図案資料集	もちもの 教科書 副教材 スケッチブック その他、制作に必要なもの (教材に応じて授業等で連絡します)
ICT機器	※学校で1人1台用意します。	
学習方法	学校	<ul style="list-style-type: none"> ・準備（用具、作品に必要な材料集め、課題等）をきちんとしよう。 ・授業の準備物を忘れないようにしよう。 ・始業チャイムまでに用具の準備を済ませておこう。 ・表現したいことを明確にし、創意工夫して表現しよう。 ・実習時は安全に注意し、しっかり集中して制作に取り組もう。 ・実習時は自分の用具を整理整頓し、終了時は周囲の後片付けもきちんとしよう。 ・制作にしっかり集中して取り組み、丁寧な作品作りを心がけよう。
	家庭	<ul style="list-style-type: none"> ・作品制作に関しての準備や予習をしよう。 ・定期テストに向けてしっかり学習しよう。

5. 年間計画

月	単元名	内容
4	オリエンテーション	美術との出会い
5	絵画・彫刻領域	ものを見つめる 鉛筆で描く ・鉛筆デッサン
6	デザイン・工芸領域	レタリングを学ぶ ・レタリングの基礎
7	絵画・彫刻領域	色を学ぶ 色彩の基本 ・色の感情
9	前期末テスト	
10	デザイン・工芸領域	デザインや工芸との出会い 材料を生かして ・銅板表札
11		
12	絵画・彫刻領域	彫刻との出会い ・文字を彫刻する
1	絵画・彫刻領域	木でつくる工芸 身の周りの工芸品 ・木彫手鏡
2	学年末テスト	
3		

2024年度 飯南中学校 第2学年【教科：美術】シラバス

1.教科の目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を育成することを目指す。

2.評価の観点と内容

	観点	内容
①	美術についての知識・技能	対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができる。
②	造形的な思考・判断・表現	造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考えとともに、主題を生み出し豊かに発想し、構想を練ったり美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。
③	主体的に学習に取り組む態度	美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に表現及び鑑賞の幅広い学習活動に取り組もうとしている。

3.評価方法

- ①作品。定期テスト。
②作品。定期テスト。
③作品。授業の準備物。提出物。授業態度。

4.学習の手引き

使用教材	教科書 美術2・3 副教材 レタリング字典 感じる表す美術 ICT機器 ※学校で1人1台用意します。	もちもの	教科書 副教材 スケッチブック その他、制作に必要なもの (教材に応じて授業等で連絡します)	
学習方法	学 校	・準備(用具、作品に必要な材料集め、課題等)をきちんとしよう。 ・授業の準備物を忘れないようにしよう。 ・始業チャイムまでに用具の準備を済ませておこう。 ・表現したいことを明確にし、創意工夫して表現しよう。 ・実習時は安全に注意し、しっかり集中して制作に取り組もう。 ・実習時は自分の用具を整理整頓し、終了時は周囲の後片付けもきちんとしよう。 ・制作にしっかり集中して取り組み、丁寧な作品作りを心がけよう。	家 庭	・作品制作に関する準備や予習をしよう。 ・定期テストに向けてしっかり学習しよう。

5. 年間計画

月	単元名	内容
4	オリエンテーション	美術を通して学ぶこと
5	絵画・彫刻領域	色を学ぶ 色彩の特徴を知る ・色の感情
6		
7	デザイン・工芸領域	光と明かり ライティングアート ・ライトスクラッチ
9	前期末テスト	
10	デザイン・工芸領域	伝統の美に学ぶ 日本の工芸品 ・伊勢型紙
11		
12		
1	デザイン・工芸領域	伝統の美に学ぶ 日本の工芸品 ・うちわのデザイン
2	学年末テスト	
3		

2024年度 飯南中学校 第3学年【教科：美術】シラバス

1.教科の目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を育成することを目指す。

2.評価の観点と内容

	観点	内容
①	美術についての知識・技能	対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができる。
②	造形的な思考・判断・表現	造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考えとともに、主題を生み出し豊かに発想し、構想を練ったり美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。
③	主体的に学習に取り組む態度	美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に表現及び鑑賞の幅広い学習活動に取り組もうとしている。

3.評価方法

- ①作品。定期テスト。
②作品。定期テスト。
③作品。授業の準備物。提出物。授業態度。

4.学習の手引き

使用教材	教科書 美術2・3 副教材 レタリング字典 感じる表す美術 ICT機器 ※学校で1人1台用意します。	もちもの 教科書 副教材 スケッチブック その他、制作に必要なもの (教材に応じて授業等で連絡します)
学習方法	<p>学 校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・準備（用具、作品に必要な材料集め、課題等）をきちんとしよう。 ・授業の準備物を忘れないようにしよう。 ・始業チャイムまでに用具の準備を済ませておこう。 ・表現したいことを明確にし、創意工夫して表現しよう。 ・実習時は安全に注意し、しっかり集中して制作に取り組もう。 ・実習時は自分の用具を整理整頓し、終了時は周囲の後片付けもきちんとしよう。 ・制作にしっかり集中して取り組み、丁寧な作品作りを心がけよう。 <p>家 庭</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品制作に関する準備や予習をしよう。 ・定期テストに向けてしっかり学習しよう。 	

5. 年間計画

月	単元名	内容
4	オリエンテーション	美術を通して学ぶこと
5	絵画・彫刻領域	色を学ぶ 色彩の特徴を知る ・色の感情
6		
7	デザイン・工芸領域	木で作る工芸品 材料の特性を生かしたデザイン ・モザイク小箱
9	前期末テスト	
10	デザイン・工芸領域	伝統の美に学ぶ 日本の工芸品 ・伊勢型紙
11	後期中間テスト	
12		
1	絵画・彫刻領域	デザインで伝える 色彩やデザインで伝える ・時計のデザイン
2		

2024年度 飯南中学校 第 1 学年 【教科:保健体育】シラバス

1.教科の目標

体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育成することを目指す。

2.評価の観点と内容

	観点	内容
①	知識・技能	運動の特性に応じた技能が身についているか、及び個人生活における健康・安全について理解することができる。
②	思考・判断・表現	運動や健康についての課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。 学習した単元について、「単元レポート」をまとめることができる。
③	主体的に学習に取り組む態度	運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営もうとしている。

3.評価方法

【授業態度】話を聴く態度がとれているか。積極性があるか。自ら楽しめているか。協調性があるか。

【実技テスト】各単元の技術がどこまで到達しているか。

【期末テスト】各単元の知識がどこまで到達しているか。

【保健ワーク・ノート】しっかり解答し、提出日までに提出されているか。

【単元レポート】内容が的を得てしっかり書かれているか。

【振り返り】毎日の振り返りがしっかり書かれているか。

4.学習の手引き

使用教材	教科書 中学保健体育（学研） 副教材 ワンダフルスポーツ（新学社） 中学保体資料ノート iPad	もちもの 教科書・保体資料ノート ワンダフルスポーツ・筆記用具 体育館シューズ
学習方法	○自分やグループの目標や課題を持って授業に取り組もう。 ○個人の記録や課題、感想をワークシートや振り返りカードに記録していこう。 ○最初からできないと決めつけず、いろいろなことに積極的に挑戦しよう。 ○チームや仲間同士で協力したり、教えあうことを大切にしよう。 ○ルールや試合方法について理解し、積極的に取り組もう。 ○どうすれば体力や技術が向上するかを考えながら練習やゲームに取り組もう。 ○先生の話や仲間からのアドバイスをしっかり聞いて理解しよう。 ○資料や知識を基にして意欲的な態度でいろいろな問題や課題に取り組もう。	

5. 年間計画

月	実技	保健
4	○集団行動 ○体づくり運動 ○新体力テスト・体育理論	
5	○陸上競技（短距離走・リレー） （スポーツフェスティバルの練習含む）	
6	○球技（バレーボール）	
7		○スポーツの多様性 ○健康な生活と病気の予防① ※「健康な生活と病気の予防」は3年間にわたって学習します
9	○器械運動（マット運動）	
10		
11	○武道（剣道） ○球技（バドミントン）	
12	○陸上競技（持久走） ○球技（サッカー）	
1		○心身の発達と心の健康
2	○球技（バスケットボール） ○ダンス ダンス発表会	
3		

2024年度 飯南中学校 第 2 学年 【教科:保健体育】シラバス

1.教科の目標

体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育成することを目指す。

2.評価の観点と内容

	観点	内容
①	知識・技能	運動の特性に応じた技能が身についているか、及び個人生活における健康・安全について理解することができる。
②	思考・判断・表現	運動や健康についての課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。 学習した単元について、「単元レポート」をまとめることができる。
③	主体的に学習に取り組む態度	運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営もうとしている。

3.評価方法

【授業態度】話を聴く態度がとれているか。積極性があるか。自ら楽しめているか。協調性があるか。

【実技テスト】各単元の技術がどこまで到達しているか。

【期末テスト】各単元の知識がどこまで到達しているか。

【保健ワーク・ノート】しっかり解答し、提出日までに提出されているか。

【単元レポート】内容が的を得てしっかり書かれているか。

【振り返り】毎日の振り返りがしっかり書かれているか。

4.学習の手引き

使用教材	教科書 中学保健体育（学研） 副教材 ワンダフルスポーツ（新学社） 中学保体資料ノート iPad	もちもの 教科書・保体資料ノート ワンダフルスポーツ・筆記用具 体育館シューズ
学習方法	○自分やグループの目標や課題を持って授業に取り組もう。 ○個人の記録や課題、感想をワークシートや振り返りカードに記録していこう。 ○最初からできないと決めつけず、いろいろなことに積極的に挑戦しよう。 ○チームや仲間同士で協力したり、教えあうことを大切にしよう。 ○ルールや試合方法について理解し、積極的に取り組もう。 ○どうすれば体力や技術が向上するかを考えながら練習やゲームに取り組もう。 ○先生の話や仲間からのアドバイスをしっかり聞いて理解しよう。 ○資料や知識を基にして意欲的な態度でいろいろな問題や課題に取り組もう。	

5. 年間計画

月	実技	保健
4	○集団行動 ○体づくり運動 ○体カテスト・体育理論	
5	○陸上競技（短距離走・リレー） （スポーツフェスティバルの練習含む）	
6	○球技（バレーボール）	
7		○スポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方 ○健康な生活と病気の予防② ※「健康な生活と病気の予防」は3年間にわたって学習します
9	○器械運動（マット運動）	
10		
	○武道（剣道）	
11	○球技（バドミントン）	
12	○陸上競技（持久走） ○球技（サッカー）	
1		○傷害の防止
	○球技（バスケットボール）	
2	○ダンス ダンス発表会	
3		

2024年度 飯南中学校 第 3 学年 【教科:保健体育】シラバス

1.教科の目標

体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育成することを目指す。

2.評価の観点と内容

	観点	内容
①	知識・技能	運動の特性に応じた技能が身についているか、及び個人生活における健康・安全について理解することができる。
②	思考・判断・表現	運動や健康についての課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。 学習した単元について、「単元レポート」をまとめることができる。
③	主体的に学習に取り組む態度	運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営もうとしている。

3.評価方法

【授業態度】話を聴く態度がとれているか。積極性があるか。自ら楽しめているか。協調性があるか。

【実技テスト】各単元の技術がどこまで到達しているか。

【期末テスト】各単元の知識がどこまで到達しているか。

【保健ワーク・ノート】しっかり解答し、提出日までに提出されているか。

【単元レポート】内容が的を得てしっかり書かれているか。

【振り返り】毎日の振り返りがしっかり書かれているか。

4.学習の手引き

使用教材	教科書 中学保健体育（学研） 副教材 ワンダフルスポーツ（新学社） 中学保健資料ノート iPad	もちもの 教科書・保体資料ノート ワンダフルスポーツ・筆記用具 体育館シューズ
学習方法	○自分やグループの目標や課題を持って授業に取り組もう。 ○個人の記録や課題、感想をワークシートや振り返りカードに記録していこう。 ○最初からできないと決めつけず、いろいろなことに積極的に挑戦しよう。 ○チームや仲間同士で協力したり、教えあうことを大切にしよう。 ○ルールや試合方法について理解し、積極的に取り組もう。 ○どうすれば体力や技術が向上するかを考えながら練習やゲームに取り組もう。 ○先生の話や仲間からのアドバイスをしっかり聞いて理解しよう。 ○資料や知識を基にして意欲的な態度でいろいろな問題や課題に取り組もう。	

5. 年間計画

月	実技	保健
4	<ul style="list-style-type: none"> ○集団行動 ○体づくり運動 ○体カテスト・体育理論 	
5	<ul style="list-style-type: none"> ○陸上競技（短距離走・リレー） （スポーツフェスティバルの練習含む） 	
6	<ul style="list-style-type: none"> ○球技（バレーボール） 	
7		<ul style="list-style-type: none"> ○文化としてのスポーツ ○健康な生活と病気の予防③
9	<ul style="list-style-type: none"> ○器械運動（マット運動） 	<ul style="list-style-type: none"> ※「健康な生活と病気の予防」は3年間にわたって学習します
10		
11	<ul style="list-style-type: none"> ○武道（剣道） ○球技（バドミントン） 	
12	<ul style="list-style-type: none"> ○陸上競技（持久走） ○球技（サッカー） 	
1		<ul style="list-style-type: none"> ○健康と環境
2	<ul style="list-style-type: none"> ○球技（バスケットボール） ○ダンス ダンス発表会 	
3		

技術・家庭科（技術分野）の学習のすすめ方（第1学年）

1. 教科の目標

- ◎材料と加工、エネルギー変換、生物育成、情報に関する基礎的・基本的な知識や技術を駆使して、課題解決のポイントを見極めながら活動しよう。
- ◎社会や環境の中の技術について、そのかわりや意義について理解を深めよう。

A 材料と加工に関する技術

- 生活や産業の中で、「技術」がどんな役割をしているか考えよう。
- 製作するとき、設計（材料のことや機能のことなど）をよく考えよう。
- 製作するとき、工具や機器を適切に使えるようになろう。
- 木材等を活用した製品の製作ができるようになろう。

B エネルギー変化に関する技術

- エネルギーの変換や力の伝達の仕組みを知ろう。
- 機器の基本的な仕組みを知り、保守点検と事故防止ができるようになろう。
- 作品製作を通して、組立て・調整や電気回路の配線・点検ができるようになろう。

C 生物育成に関する技術

- 生物の育成に適する条件と生物の育成環境を管理する方法を知ろう。
- 生物の栽培・育成の実習を通して、生物の育成計画を立て、生物の栽培又は飼育ができるようになろう。

D 情報に関する技術

- コンピュータの基本的な構成を知り、操作ができるようになろう。
- 著作権や発信した情報に対する責任など、情報モラルについて考えよう。
- デジタル作品の制作を通して、ソフトウェアを使えるようになろう。
- コンピュータを利用した計測・制御の仕組みを知り、プログラムが作れるようになろう。

2. 学習の手引き

使用教材	教科書 技術・家庭《技術分野》（東京書籍） 副教材 技術・家庭ハンドノート（正進社） スピード設計8（yamazaki）	持ちもの	教科書、副教材、ファイル
学習の進めかた	<p>《確かな学力を身につけるには》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学習課題をしっかりとらえ、前向きにとりくみましよう。 ○わからないところ、できないところを明確にして、学習・製作をしましよう。 ○何事にもじっくり考えて、自分にできる精一杯の工夫をしましよう。 ○できるようになったこと。自分の成長したことに自信を持ちましよう。 ○作品づくりにおいては、ていねいに製作に取り組みましよう。 <p>《家庭学習》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○家庭での仕事を手伝うこと。 特に夏休み等の長期の休みに、家族の一員としていろいろな家庭での仕事を手伝うこと。 <p>《定期テスト》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○範囲は、テスト発表時に通知します。 ○授業中に学習したことをしっかりと復習しておきましよう。 		
学習上の注意等	<ul style="list-style-type: none"> ○製作においては、目的と方法を理解し、工夫して、ていねいに製作に取り組みましよう。 ○製作においては、ケガをしないように、十分注意しましよう。 ○完成したすべての作品をていねいに、また大切に扱いましよう。 ○コンピュータ機器をていねいに扱いましよう。 ○技術室の機械・工具を安全に使いましよう。 		

3. 年間計画と評価の観点・内容

学 習 計 画				評価にあたって				
学期	月	単 元 計 画	試験	評 価 観 点		評価の場面・方法		
前 期	4	◎生活や社会における技術の役割 ◎材料と加工に関する技術 ○ものづくりの視点と進め方 ○材料○設計 ○木材による製作 ○金属・プラスチックによる製作 ○材料と加工に関する技術の評価・活用 ○製作・実習	期末	主 体 的 に 学 習 に 取 組 む 態 度	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な製作品やコンピュータに興味をもち技術の発達や人間生活への活用を考えようとしたか。またその製作品の材料や構造を考えることができたか。 ・製作に使用する工具や機器を安全に使えたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察、実習態度 ・発表 ・提出物 ・授業プリント 		
	5				思 考 判 断 表 現		<ul style="list-style-type: none"> ・製作品に、工夫して材料の特徴を生かしているか。 ・製作品の使用目的にあわせて構造を工夫しているか。 ・製作で、より適切な工具の使い方ができるか。 ・情報技術に関する課題をとらえ比較・検討するなど、適切な解決を見いだしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察、実習態度 ・発表 ・提出物 ・授業プリント ・定期テスト ・製作品
	6						知 識 技 能	
	7							
	8							
				9				
	後 期			10	◎情報に関する技術 ○情報と私たちの生活 ○情報通信ネットワークの利用 ○情報通信ネットワークとセキュリティ ○情報モラルと知的財産	期末		
				11				
				12				
1								
	2							
	3							

技術・家庭科（技術分野）の学習のすすめ方（第2学年）

1. 教科の目標

- ◎作品の製作などの体験的な活動を通して、材料と加工、エネルギー変換、生物育成、情報に関する基礎的・基本的な知識や技術を習得しよう。
- ◎技術と社会や環境とのかかわりについて理解を深めよう。

A 材料と加工に関する技術

- 生活や産業の中で、「技術」がどんな役割をしているか考えよう。
- 製作するとき、設計（材料のことや機能のことなど）をよく考えよう。
- 製作するとき、工具や機器を適切に使えるようになるよう。
- 木材等を活用した製品の製作ができるようになるよう。

B エネルギー変化に関する技術

- エネルギーの変換や力の伝達の仕組みを知ろう。
- 機器の基本的な仕組みを知り、保守点検と事故防止ができるようになるよう。
- 作品製作を通して、組立て・調整や電気回路の配線・点検ができるようになるよう。

C 生物育成に関する技術

- 生物の育成に適する条件と生物の育成環境を管理する方法を知ろう。
- 生物の栽培・育成の実習を通して、生物の育成計画を立て、生物の栽培又は飼育ができるようになるよう。

D 情報に関する技術

- コンピュータの基本的な構成を知り、操作ができるようになるよう。
- 著作権や発信した情報に対する責任など、情報モラルについて考えよう。
- デジタル作品の制作を通して、ソフトウェアを使えるようになるよう。
- コンピュータを利用した計測・制御の仕組みを知り、プログラムが作れるようになるよう。

2. 学習の手引き

備 謝	教科書 技術・家庭《技術分野》（東京書籍） 副教材 技術・家庭ハンドノート（正進社） LEDライト（トップマン）	も の	教科書、副教材、ファイル
学 習 の 進 め か た	<p>《確かな学力を身につけるには》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 実習では、結果だけでなく、課題のねらいをよく考えて取り組もう。 ○ 実習は、作業時間を考えて計画的にすすめよう。 ○ 自分でできる工夫を積極的にすすめよう。 ○ 周りの人と相談し、お互いの向上に努めよう。 <p>《家庭学習》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 家庭での仕事を手伝うこと。 特に夏休み等の長期の休みに、家族の一員としていろいろな家庭での仕事を手伝うこと。 <p>《定期テスト》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 範囲は、テスト発表時に通知します。 ○ 授業中に学習したことをしっかり復習しておきましょう。 		
学 習 上 の 注 意 等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 製作においては、目的と方法を理解し、工夫して、ていねいに製作に取り組みましょう。 ○ 製作においては、ケガをしないように、十分注意しましょう。 ○ 完成したすべての作品をていねいに、また大切に扱きましょう。 ○ コンピュータ機器をていねいに扱きましょう。 ○ 技術室の機械・工具を安全に使いましょう。 		

3. 年間計画と評価の観点・内容

学 習 計 画				評価にあたって		
期	月	単 元 計 画	識	評 価 観 点		評 価 の 場 面 ・ 方 法
前 期	4	◎エネルギー変換に関する技術 ○わたしたちの生活とエネルギー変換 ○電気エネルギーの利用 ○動力の利用 ○エネルギー変換の実際	識	主 体 的 に 学 習 に 取 組 む 態 度	・エネルギーの変換や伝達のしくみやコンピュータに関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしたか。 ・作品の製作に意欲的に取り組もうとしたか。 ・課題を設定し問題解決のための構想を立てることができたか。	・行動観察、実習態度 ・発表 ・提出物 ・授業プリント
	5					
	6					
中 期	7	○製作品の構想と設計・製作 ○エネルギー変換に関する技術の評価・活用	識	思 考 ・判 断 表 現	・目的の動きにあわせた作品を効率的につくる方法を考えることができたか。 ・作品を確実に完成させるための点検の工夫することができたか。 ・情報技術に関する課題をとらえ比較・検討するなど、適切な解決を見いだしている。	・行動観察、実習態度 ・発表 ・提出物 ・授業プリント ・定期テスト ・製作品
	8					
	9					
後 期	10	○製作品の製作実習 ◎情報に関する技術 ○コンピュータと情報処理 ○デジタル作品の設計と製作 ○プログラミングの基礎	識	知 理 解	・どのようなエネルギー変換が行われて、その変換の仕組みを理解している。 ・電源の種類や特徴を理解している。 ・情報技術のしくみや処理方法を理解することができる。 ・情報処理の手順についての知識を身につけている。 ・知的財産権を尊重しながらメディアの素材を利用する知識を身につけている。	・定期テスト ・授業プリント ・製作品
	11					
	12					
	1					
	2					
	3					

技術・家庭科（技術分野）の学習のすすめ方（第3学年）

1. 教科の目標

- ◎作品の製作などの体験的な活動を通して、材料と加工、エネルギー変換、生物育成、情報に関する基礎的・基本的な知識や技術を習得しよう。
- ◎技術と社会や環境とのかかわりについて理解を深めよう。

A 材料と加工に関する技術

- 生活や産業の中で、「技術」がどんな役割をしているか考えよう。
- 製作するとき、設計（材料のことや機能のことなど）をよく考えよう。
- 製作するとき、工具や機器を適切に使えるようになろう。
- 木材等を活用した製品の製作ができるようになろう。

B エネルギー変化に関する技術

- エネルギーの変換や力の伝達の仕組みを知ろう。
- 機器の基本的な仕組みを知り、保守点検と事故防止ができるようになろう。
- 作品製作を通して、組立て・調整や電気回路の配線・点検ができるようになろう。

C 生物育成に関する技術

- 生物の育成に適する条件と生物の育成環境を管理する方法を知ろう。
- 生物の栽培・育成の実習を通して、生物の育成計画を立て、生物の栽培又は飼育ができるようになろう。

D 情報に関する技術

- コンピュータの基本的な構成を知り、操作ができるようになろう。
- 著作権や発信した情報に対する責任など、情報モラルについて考えよう。
- デジタル作品の制作を通して、ソフトウェアを使えるようになろう。
- コンピュータを利用した計測・制御の仕組みを知り、プログラムが作れるようになろう。

2. 学習の手引き

使用教材	教科書 技術・家庭《技術分野》（東京書籍） 副教材 技術・家庭総ノート技術分野（正進社） フレッシュフィールミニトマト	持ち物	教科書、副教材 技術ファイル
学習の進めかた	<p>《確かな学力を身につけるには》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 実習では、結果だけでなく、課題のねらいをよく考えて取り組もう。 ○ 実習は、作業時間を考えて計画的にすすめよう。 ○ 自分でできる工夫を積極的にすすめよう。 ○ 周りの人と相談し、お互いの向上に努めよう。 <p>《家庭学習》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 家庭での仕事を手伝うこと。 特に夏休み等の長期の休みに、家族の一員としていろいろな家庭での仕事を手伝うこと。 <p>《定期テスト》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 範囲は、テスト発表時に通知します。 ○ 授業中に学習したことをしっかり復習しておきましょう。 		
学習上の注意等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 製作においては、目的と方法を理解し、工夫して、ていねいに製作に取り組みましょう。 ○ 製作においては、ケガをしないように、十分注意しましょう。 ○ 完成したすべての作品をていねいに、また大切に扱きましょう。 ○ コンピュータ機器をていねいに扱きましょう。 ○ 技術室の機械・工具を安全に使いましょう。 		

3. 年間計画と評価の観点・内容

学 習 計 画				評価にあたって				
学期	月	単 元 計 画	試験	評 価 観 点	評価の場面・方法			
前 期	4	オリエンテーション	期末	主 体 的 に 学 習 に 取 組 む 態 度	<ul style="list-style-type: none"> ○生育過程や環境条件、栽培技術の役割など、進んで学習し意欲的に取り組もうとしている。 ○コンピュータの基本的な構成と機能、及びソフトウェアの機能に関心をもち、操作しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察 ・発表 ・実習態度 ・定期テスト 		
	5	◎生物育成に関する技術 ○わたしたちの生活と生物育成						
	6	○生物の育成 ○作物の栽培						
	7	○実習		思 考 ・ 判 断 ・ 表 現	<ul style="list-style-type: none"> ○情報技術に関する課題をとらえ、比較・検討するなど、適切な解決を見いだしている。 ○栽培計画の立案や栽培実践に、栽培する作物に応じた工夫をすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察 ・作品 ・発表 ・定期テスト 		
	8	○動物の飼育 ○水生生物の栽培						
	9	○生物育成に関する技術の評価・活用						
	後 期	10		◎情報に関する技術 ○プログラミングの基	中間	知 識 ・ 理 解	<ul style="list-style-type: none"> ○情報技術のしくみや処理方法を理解することができる。 ○情報処理の手順についての知識を身につけている。 ○知的財産権を尊重しながらメディアの素材を利用する知識を身につけている。 ○品種の特性や生育条件、土づくり、施肥の方法、病害虫の予防等、栽培知識を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作品 ・定期テスト
		11		礎 ○オリジナルWebサイトの制作				
		12		○プログラムによる計測・制御				
1		○情報に関する技術の評価・活用						
2								
3								

2024年度 飯南中学校 第1学年【教科：家庭】シラバス

1.教科の目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を育成することを目指す。

2.評価の観点と内容

	観点	内容
①	生活や技能についての知識・技能	家族・家庭の基本的な機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。
②	生活や技能についての思考・判断・表現	これからの生活を展望し、家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。
③	主体的に学習に取り組む態度	家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。

3.評価方法

- ①実習・作品。定期テスト。
 ②実習・作品。ワーク。定期テスト。
 ③実習・作品。授業の準備物。提出物。授業態度。

4.学習の手引き

使用教材	教科書 新しい技術・家庭 家庭分野 副教材 ワーク ICT機器 ※学校で1人1台用意します。	もちもの 教科書 ワーク 裁縫箱（必要時） その他、実習に必要なもの （教材に応じて授業等で連絡します）
学習方法	学 校	<ul style="list-style-type: none"> ・準備（教科書、ワーク、課題等）をきちんとしよう。 ・授業の準備物を忘れないようにしよう。 ・始業チャイムまでに用具の準備を済ませておこう。 ・先生の説明を集中して聞き、しっかりと授業に取り組もう。 ・実習時は安全に注意し、集中して取り組もう。 ・実習時は自分の用具を整理整頓し、終了時は周囲の後片付けもきちんとしよう。 ・提出物の期限は必ず守ろう。
	家 庭	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テストに備えて、普段からしっかり復習をしておこう。 ・ワークは授業を受けたところまでを取り組み、丸つけまでしよう。

5. 年間計画

月	単元名	内容
4	食事の役割と中学生の栄養の特徴	・食事の役割
5		・私たちの食生活
6	中学生に必要な栄養を満たす食事	・食品に含まれる栄養素
7		・6つの食品群
9	食品の選択と購入	・バランスの良い献立作り
10	前期末テスト	・生鮮食品の特徴
11	日常食の調理と地域の食文化	・加工食品の特徴
12		・食品の保存と食中毒の防止
1	布を用いた小物の製作	・食品（野菜・肉・魚）の特徴
2		・日本の食文化
3	学年末テスト	・持続可能な食生活
		・生活小物の製作 作品製作

2024年度 飯南中学校 第2学年【教科：家庭】シラバス

1.教科の目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を育成することを目指す。

2.評価の観点と内容

	観点	内容
①	生活や技能についての知識・技能	家族・家庭の基本的な機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。
②	生活や技能についての思考・判断・表現	これからの生活を展望し、家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。
③	主体的に学習に取り組む態度	家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。

3.評価方法

- ①実習・作品。定期テスト。
 ②実習・作品。ワーク。定期テスト。
 ③実習・作品。授業の準備物。提出物。授業態度。

4.学習の手引き

使用教材	教科書 新しい技術・家庭 家庭分野 副教材 ワーク ICT機器 ※学校で1人1台用意します。	もちもの 教科書 ワーク 裁縫箱（必要時） その他、実習に必要なもの （教材に応じて授業等で連絡します）
学習方法	学 校	<ul style="list-style-type: none"> ・準備（教科書、ワーク、課題等）をきちんとしよう。 ・授業の準備物を忘れないようにしよう。 ・始業チャイムまでに用具の準備を済ませておこう。 ・先生の説明を集中して聞き、しっかりと授業に取り組もう。 ・実習時は安全に注意し、集中して取り組もう。 ・実習時は自分の用具を整理整頓し、終了時は周囲の後片付けもきちんとしよう。 ・提出物の期限は必ず守ろう。
	家 庭	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テストに備えて、普段からしっかり復習をしておこう。 ・ワークは授業を受けたところまでを取り組み、丸つけまでしよう。

5. 年間計画

月	単元名	内容
4	住まいの役割と安全な住まい方	・ 住まいと気候風土の関わり
5		・ 健康で快適な室内環境
6		・ 災害への対策
7		・ 持続可能な住生活を目指して
9		・ 衣服の働き
10		・ 衣服計画と必要な衣服の選択
11	衣服の選択と手入れ	・ 衣服の手入れ
12	前期末テスト	
1	生活を豊かにするために	・ 製作計画
2	布を用いた小物の製作	・ 生活小物の製作
3		作品製作
3	学年末テスト	

2024年度 飯南中学校 第3学年【教科：家庭】シラバス

1.教科の目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を育成することを目指す。

2.評価の観点と内容

	観点	内容
①	生活や技能についての知識・技能	家族・家庭の基本的な機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。
②	生活や技能についての思考・判断・表現	これからの生活を展望し、家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。
③	主体的に学習に取り組む態度	家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。

3.評価方法

- ①実習・作品。定期テスト。
 ②実習・作品。ワーク。定期テスト。
 ③実習・作品。授業の準備物。提出物。授業態度。

4.学習の手引き

使用教材	教科書 新しい技術・家庭 家庭分野 副教材 ワーク ICT機器 ※学校で1人1台用意します。	もちもの 教科書 ワーク 裁縫箱（必要時） その他、実習に必要なもの （教材に応じて授業等で連絡します）
学習方法	学 校	<ul style="list-style-type: none"> ・準備（教科書、ワーク、課題等）をきちんとしよう。 ・授業の準備物を忘れないようにしよう。 ・始業チャイムまでに用具の準備を済ませておこう。 ・先生の説明を集中して聞き、しっかりと授業に取り組もう。 ・実習時は安全に注意し、集中して取り組もう。 ・実習時は自分の用具を整理整頓し、終了時は周囲の後片付けもきちんとしよう。 ・提出物の期限は必ず守ろう。
	家 庭	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テストに備えて、普段からしっかり復習をしておこう。 ・ワークは授業を受けたところまでを取り組み、丸つけまでしよう。

5. 年間計画

月	単元名	内容
4	私たちの消費生活	・消費者としての自覚
5		・購入方法と支払方法
6	責任ある消費者になるために	・消費者トラブルとその対策
7		・消費者としてできること
9		・省エネルギーと持続可能な社会
	前期末テスト	・持続可能な消費生活を目指して
10	幼児の生活と家族	・幼児の体と心の発達
11		・幼児の生活習慣
	後期中間テスト	・幼児の生活と遊び
12	布を用いた小物の製作	・製作計画
1		・生活小物の製作
2		作品製作

2024年度 飯南中学校 第1学年 英語科シラバス

1. 教科の目標

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成することを目指す。

2. 評価の観点及び評価方法

観点	知識・技能	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けているか。
	思考・判断・表現	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり、伝え合ったりすることができる力を身に付けているか。
	主体的に学習に取り組む態度	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、知識及び技能、思考力、判断力、表現力を身に付けるために粘り強く取り組んでいるか。また、自分に合った学習方法を考えているか。
方法	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中の様子 ①授業内容を踏まえ、粘り強く学ぼうとしているか。 ②積極的にペアやグループ、先生と英語でコミュニケーションをとろうとしているか。 ・提出物 ①ワーク、プリント(自主的に問題を解き、答え合わせや訂正ができているか) ②ふりかえり(めあてに対してふりかえり、学習の調整をしようとしているか) ③家庭学習 ・テスト ①定期テスト(観点別内容に沿ってどこまで到達しているか) ②パフォーマンステスト(スピーチ、インタビュー) ③小テスト 	

3. 学習の手引き

使用教材	NEW HORIZON ENGLISH COURSE 1	
もちもの	教科書、ジョイフルワーク、英語ワークノート、ファイル	
学習方法	学校	教科書に沿って学習を進める。1ミニットーク、スモールトークなど英語のコミュニケーション能力を育成するために、読む、聞く、話す(発表・やりとり)の4技能全てに重きをおいた授業を進めていく。そのためにペア活動やグループ活動での英語でのコミュニケーションのやり取りを大切にしている。生徒自身の発音ややり取りを振り返るなど、タブレット端末を効果的に活用していく。また、必要に応じた各種小テストを実施し、知識の定着を徹底していく。
	家庭	宿題(ノート・ワーク・プリント・単語意味調べ・音読)を行う。音読は授業で学習した教科書の本文を何度も声に出して音読する。タブレット端末のeライブラリ機能を使って、基礎・基本を定着させる。

4. 年間計画

期	月	単元名・教材名	学習内容	評価
前期	4	Unit 0 Welcome to Junior High School	小学校の学習内容の復習 挨拶をしたり、質問したり、答えたりする アルファベットと単語	小学校で習った表現を使って、自分と相手のことについてやりとりすることができる。
		Unit 1 New School, New Friends	1人称、2人称が主語の一般動詞の文、be動詞の文 canの文	自分がふだんよくすることや、できることを伝えることができる。
	5	Unit 2 Our New Teacher	3人称が主語のbe動詞の文 What, Who, How	身近な人やものについて紹介したり、たずねたりすることができる。
		Unit 3 Club Activities	Where, When I want to ~ How many	いつ・どこなのかをたずねたり、数をたずねたりすることができる。 ALTとのインタビューテスト
後期	6	Unit 4 Friends in New Zealand	命令文 What time, What + 名詞の文	相手に指示したり、時刻や好きなものをたずねたりすることができる。

後 期	7	Unit 5 A Japanese Summer Festival Stage Activity 1 "All about Me" Poster	前置詞 動名詞(like/enjoy ~ing be good at ~ing) 既習事項の総復習	行った場所や、そこで楽しんだことなどについて話すことができる。 自分の好きなことについて、つながりのある文章を作り、英語で自己紹介の発表ができる。
	9	Unit 6 A Speech about My Brother Let's Talk 1 お願い	3人称単数現在形(一般動詞)の文 Can I ...? Can you ...?の文	自分と相手以外の人やものなどについて、たずねたり伝えたりすることができる。 身近な人に許可を求めたり、依頼したりすることができる。
	10	Unit 7 Foreign Artists in Japan Let's Talk 2 体調 Let's Listen 1 留学生のプロフィール	人称代名詞の目的格 Which, Whose What's wrong? I have ~ want to 動詞	自分と相手以外の人について話したり、どちらなのか、だれのものかをたずねたりすることができる。 相手の体調についてたずねたり、自分の体の不調について説明したりすることができる。 人に関する紹介を聞いて、基本情報やその人がどのような人かを理解することができる。
	11	Unit 8 A Surprise Party Let's Write 1 お祝い	When, Which 現在進行形 感嘆文(How ...! How ...!)	今していることについて説明したり、たずねたりすることができる。 目的に合わせたカードを書くことができる。
	12	Unit 9 Think Globally, Act Locally Let's Talk 3 道案内 Let's Listen 2 欠席した友達への電話連絡 Stage Activity 2 My Hero Let's Read 1 Let's Climb Mt. Fuji	want(try, need) to 動詞 look 形容詞 道案内で使う表現 既習事項の総復習	したいことや、する必要のあることなどについて説明したり、たずねたりすることができる。 徒歩での道順をたずねたり、教えたりすることができる。 好きな有名人や尊敬する人についてたずねたり、説明したりすることができる。(プレゼンテーションテスト) 図や表などの情報を参考に、書き手の考えを読み取ることができる。
	1	Unit 10 Winter Vacation Let's Write 2 旅先からの便り	一般動詞の過去形(規則動詞・不規則動詞)	過去の出来事について説明したり、たずねたりすることができる。 旅先からの絵はがきを書くことができる。
	2	Unit 11 This Year's Memories Let's Talk 4 レストラン Let's Listen 3 ラジオのDJトーク Stage Activity 3	be動詞の過去形 There is(are) ~ 過去進行形 レストランで注文したり、勧めたりするときとその答え方の表現 既習事項の総復習	過去の状態や気持ち、過去のある時点にしていたことについて説明することができる。 レストランなどで、注文をしたり質問に答えたりすることができる。 休暇の思い出など日常的な話を聞いて、主な内容を聞き取ることができる。 思い出に残った学校行事について発表することができる。 物語を読んで、場面の変化や登場人物の心情などを理解することができる。
	3	My Favorite Event This Year Learning LITERATURE in English Let's Read 2 City Lights		

2024年度 飯南中学校 第2学年 英語科シラバス

1. 教科の目標

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成することを目指す。

2. 評価の観点及び評価方法

観点	知識・技能	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けているか。
	思考・判断・表現	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり、伝え合ったりすることができる力を身に付けているか。
	主体的に学習に取り組む態度	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、知識及び技能、思考力、判断力、表現力を身に付けるために粘り強く取り組んでいるか。また、自分に合った学習方法を考えているか。
方法	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中の様子 <ul style="list-style-type: none"> ①授業内容を踏まえ、粘り強く学ぼうとしているか。 ②積極的にペアやグループ、先生と英語でコミュニケーションをとろうとしているか。 ・提出物 <ul style="list-style-type: none"> ①ワーク、プリント(自主的に問題を解き、答え合わせや訂正ができているか) ②ふりかえり(めあてに対してふりかえり、学習の調整をしようとしているか) ③家庭学習 ・テスト <ul style="list-style-type: none"> ①定期テスト(観点別内容に沿ってどこまで到達しているか) ②パフォーマンステスト(スピーチ、インタビュー) ③小テスト 	

3. 学習の手引き

使用教材	NEW HORIZON ENGLISH COURSE 2	
もちもの	教科書、ジョイフルワーク、Benjaminノート、ファイル	
学習方法	学校	教科書に沿って学習を進める。1ミニッツトーク、スモールトークなど英語のコミュニケーション能力を育成するために、読む、聞く、話す(発表・やりとり)の4技能全てに重きをおいた授業を進めていく。そのためにペア活動やグループ活動での英語でのコミュニケーションのやり取りを大切にしている。生徒自身の発音ややり取りを振り返るなど、タブレット端末を効果的に活用していく。また、必要に応じた各種小テストを実施し、知識の定着を徹底していく。
	家庭	宿題(ノート・ワーク・プリント・単語意味調べ・音読)を行う。音読は授業で学習した教科書の本文を何度も声に出して音読する。タブレット端末のeライブラリ機能を使って、基礎・基本を定着させる。

4. 年間計画

期	月	単元名・教材名	学習内容	評価
	4	Unit 0 My Spring Vacation	動詞の過去形・過去進行形 There is (are)...	・思い出を伝えるために、これまでに学んだことをもちいて、自分が経験したことを話すことができる。
		Unit 1 A Trip to Singapore Let's Talk 1 ホテルでのトラブル Let's Listen 機内放送	be going to・助動詞will・SVOO・SVOI I have problem with~/~doesn't work./I apologize for...	・休暇や週末の予定について、たずねたり伝えたりすることができる。 ・場面に応じて、苦情を言ったり、それに対して謝ったりすることができる。 ・機内放送を聞き、必要な情報を聞き取ることができる。
	5	Unit 2 Food Travel around the World Let's Talk 2 ていねいなお願い Let's Listen 2 インタビュー	接続詞when・if・that・because May I~/Could you~	・好きな食べ物やその理由について、紹介文を書くことができる。 ・場面や相手に応じて、ていねいに許可を求めたり、依頼したりすることができる。 ・インタビューを聞き、質問の内容や答えを聞き取ることができる。

前期	6	Unit 3 My Future Job Let's Write 1 留守番電話のメッセージへの返信	不定詞(副詞的用法・名詞的用法・形容詞的用法)・It is...+to	・自分が体験したことや学んだことなどについて、たずねたり伝えたりすることができる。 ・留守番電話のメッセージを聞いて内容を理解し、相手に返信メールを書くことができる。
	7	Learning TECHNOLOGY in English Stage Activity 1 A Message to Myself in the Future Let's Read 1 History of Clocks Let's Listen 3 天気予報	不定詞・It is ... +to 既習事項の総復習	・情報技術の活用の仕方を考えるために、その機能について長所や短所を整理してまとめる、考えをやりとりしたり書いたりすることができる。 ・好きなことについて話し合い、自分に合うと思う仕事について書くことができる。 ・説明文を読み、時計についての歴史を読み取ったり、説明したりすることができる。 ・天気予報を聞き、必要な情報を聞き取ることができる。
	9	Unit 4 Homestay in the United States	have to ・ do not have to ・ 助動詞 must ・ must not ・ 動名詞(目的語・主語)	・習慣やマナーについて、たずねたり伝えたりすることができる。
後期	10	Let's Write 2 ホームステイのお礼状 Let's Listen 4 電車の運行情報 Unit 5 Universal Design	動名詞 ~ing 疑問詞+to 主語+動詞+(人)+疑問詞+to 主語+be動詞+形容詞+that	・お世話になった人に、手紙で感謝の気持ちを書き伝えることができる。 ・運行情報を聞き、必要な情報を聞き取ることができる。 ・身近なもの・ことについて使い方ややり方を説明したり自分の考えを述べたりすることができる。
	11	Let's Talk 3 電車の乗り換え Let's Listen 5 留守番電話 Unit 6 Research Your Topic Let's Talk 4 買い物	Could you tell me how to get to...? Take... / 主語+動詞+(人)+疑問詞+to 比較表現 (...er / the best / more... / the most... / better / best / as~as) Shall I~?	・乗り物での行き方をたずねたり、答えたりすることができる。 ・留守番電話を聞き、主な内容を理解することができる。 ・身近なことについて、特徴を比較しながら説明することができる。 ・自分の好みや要望を伝えながら買い物をすることができる。
	12	Stage Activity 2 Research and Presentation Let's Read 2 A Glass of Milk	既習事項の総復習	・クラスで人気のあるものを調べて、その結果をまとめて発表することができる。 ・物語を読み、場面や登場人物の心情の変化を読み取ったり、気持ちを込めて音読したりすることができる。
	1	Let's Listen 6 商品のコマーシャル Unit 7 World Heritage Sites	比較表現 受け身(平叙文・疑問文) 受け身(by...付き、助動詞付き)	・商品のコマーシャルを聞き、商品の特徴を聞き取ることができる。 ・各地の世界遺産を調べ紹介することができる。
	2	Let's Talk 5 電話でのやり取り Let's Listen 7 店内のアナウンス Stage Activity 3 My Favorite Place in Our Town	Do you want to...? - I'd like to, but I can't. 受け身 既習事項の総復習	・自分の好みや要望を伝えながら電話で要件を伝えることができる。 ・店内のアナウンスを聞き、イベントなどの情報を聞き取ることができる。 ・自分の町のおすすめの場所について書き、相手にその特徴や良い点を伝えることができる。
3	Let's Read 3 Pictures and Our Beautiful Planet	既習事項の総復習	・人物の伝記を読んで、時系列を整理しながら内容を理解することができる。	

2024年度 飯南中学校 第3学年 英語科シラバス

1. 教科の目標

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成することを目指す。

2. 評価の観点及び評価方法

観点	知識・技能	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けているか。
	思考・判断・表現	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり、伝え合ったりすることができる力を身に付けているか。
	主体的に学習に取り組む態度	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、知識及び技能、思考力、判断力、表現力を身に付けるために粘り強く取り組んでいるか。また、自分に合った学習方法を考えているか。
方法	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中の様子①授業内容を踏まえ、粘り強く学ぼうとしているか。 ②積極的にペアやグループ、先生と英語でコミュニケーションをとろうとしているか。 ・提出物①ワーク、プリント(自主的に問題を解き、答え合わせや訂正ができているか) ②ふりかえり(めあてに対してふりかえり、学習の調整をしようとしているか) ③家庭学習 ・テスト①定期テスト(観点別内容に沿ってどこまで到達しているか) ②パフォーマンステスト(スピーチ、インタビュー) ③小テスト 	

3. 学習の手引き

使用教材	NEW HORIZON ENGLISH COURSE 3	
もちもの	教科書、ジョイフルワーク、英語ワークノート、ファイル	
学習方法	学校	教科書に沿って学習を進める。1ミニットーク、スモールトークなど英語のコミュニケーション能力を育成するために、読む、聞く、話す(発表・やりとり)の4技能全てに重きをおいた授業で進めていく。そのためにペア活動やグループ活動での英語でのコミュニケーションのやり取りを大切にしていく。生徒自身の発音ややり取りを振り返るなど、タブレット端末を効果的に活用していく。また、必要に応じた各種小テストを実施し、知識の定着を徹底していく。
	家庭	宿題(ノート・ワーク・プリント・単語意味調べ・音読)を行う。音読は授業で学習した教科書の本文を何度も声に出して音読する。タブレット端末のeライブラリ機能を使って、基礎・基本を定着させる。

4. 年間計画

期	月	単元名・教材名	学習内容	評価
前期	4	Unit 0 Three Interesting Facts about Languages	受け身	これまでに学んだことを使って、世界で話されている言語について書かれたレポートの情報を読み取ることができる。
		Unit 1 Sports for Everyone Let's write 1 有名人への手紙 Let's Listen 1 ディスカッション	現在完了形(経験用法)を用いた文, SVOC(O=形容詞), SVOC(that節)	これまでに経験したことにもとづいて、相手に合ったプランを伝えることができる。 気持ちを伝えるために、表現方法を工夫しながらファンレターを書くことができる。 ディスカッションを聞き、自分の意見を考えるのに必要な情報を理解することができる。
	5	Unit 2 Haiku in English Let's Talk 1 はじめての出会い Learning SCIENCE in English	現在完了形(完了・継続用法), 現在完了進行形	ずっと好きなことや、これまで取り組んできたことについて伝え合うことができる。(プレゼンテーション) 初対面の相手に配慮しながら、歓迎する気持ちを伝えることができる。 人間と環境の関係を考えるために、食物連鎖や生態系について整理し、情報をやり取りしたり書いたりすることができる。 社会的な話題に関する講演を聞き、話し手の伝えたい内容を理解することができる。

前 期	6	Let's Listen 2 講演 Unit 3 Animals on the Red List Let's Write 2 記事への意見	<It is ... (for+(人など))+to>の文, <want+(人など)+to>や<let [help]+(人など)+動詞の原形	自分の意見や考えを加えて記事を書くことができる。 社会的な話題について、理由や根拠を含めて自分の意見を書くことができる。
	7	Stage Activity 1 My Activity Report Let's Read 1 A Mother's Lullaby Let's Listen 3 ラジオの災害情報	既習事項の総復習	これまでの経験をふり返って活動報告を発表することができる。(プレゼンテーション) 物語を読んで、場面の変化や登場人物の心情などを理解し、気持ちをこめて音読することができる。 災害情報を聞き、どう行動すればよいかを理解することができる。
	9	Unit 4 Be Prepared and Work Together Let's Talk 2 町中での手助け Learning CIVICS in English Let's Listen 4 テレビの国際ニュース	間接疑問文とSV00(what節)の文, 現在分詞・過去分詞	標識が何を意味しているかを説明することができる。 相手の立場に立って、具体的な提案をしながら申し出たり応じたりすることができる。 選挙と投票について考えを深めるために、投票率に関する資料から読み取ったことを伝え合ったり、身近な話題について公約を考えて発表したりすることができる。 ニュースなどのテレビ番組の音声聞いて、概要や要点を理解することができる。
後 期	10	Unit 5 A Legacy for Peace Let's Write 3 グラフや表の活用 Stage Activity 2 Discover Japan Let's Listen 5 世界で働く人へのインタビュー	名詞を修飾する文と、関係代名詞who, that [which](主格・目的格)	人やものについて詳しい情報を加えて説明することができる。 資料から読み取った情報について、事実と意見をわけて書くことができる。 日本や郷土の文化などを紹介する文を、詳しい情報を加えながら書くことができる。(プレゼンテーション・インタビューテスト) 人物の経歴を聞いて、概要を理解することができる。
	11	Unit 6 Beyond Borders	仮定法と主語を説明する関係代名詞	架空の状況について説明したり、感想や意見を述べたりすることができる。
	12	Let's Talk 3 食品の選択 Let's Listen 6 中学校生活の思い出 Stage Activity 3 Let's Have a Mini Debate	既習事項の総復習	相手の意見を受けて自分の主張を述べることができる。 スピーチを聞いて、話の概要を理解することができる。 主張とその理由を明確にしなが、ディベートをすることができる。
	1	Let's Read 2 Power Your Future	既習事項の総復習	エネルギー問題に関する説明文を読んで、概要を理解し、自分の考えや意見を述べることができる。
	2	Let's Read 3 A Graduation Gift from Steve Jobs	既習事項の総復習	スピーチの原稿を読んで、内容の要点を理解し、自分の言葉で伝えることができる。